

(様式第10)

厚生労働大臣 殿
関病発第 25X01 号
令和 7 年 10 月 3 日
開設者名 学校法人 関西医科大学
理事長 山下 敏夫

関西医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒573-1010 大阪府枚方市新町2丁目5番1号
氏名	学校法人 関西医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

関西医科大学附属病院

3 所在の場所

〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目3番1号
電話(072)804-0101

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input checked="" type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input checked="" type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科		
診療実績							
・アレルギー疾患内科またはアレルギー科の内容は呼吸器内科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科で診療している。 ・神経内科の診療内容は脳神経内科にて提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
○	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
内分泌外科の内容は、耳鼻咽喉科、泌尿器科で診療している。							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	血液・腫瘍内科	2	肝臓内科	3	心療内科	4	糖尿病内科	5	肝臓外科
6	胆のう外科	7	頭頸部外科	8	形成外科	9	リハビリテーション	10	病理診断科
11	臨床検査科	12	脳神経内科	13	脳血管外科	14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
				797	797

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	438	195	469.5
歯科医師	8	11	9.6
薬剤師	64	3	64.7
保健師			
助産師	60		60
看護師	943	64	988.7
准看護師			
歯科衛生士	11		11
管理栄養士	16	5	17.7

職種	員数
看護補助者	208
理学療法士	42
作業療法士	13
視能訓練士	10
義肢装具士	
臨床工学士	28
栄養士	
歯科技工士	
診療放射線技師	54

職種	員数
診療エックス線技師	
臨床検査技師	77
衛生検査技師	
その他	
あん摩マッサージ指圧師	
医療社会事業従事者	13
その他の技術員	52
事務職員	197
その他の職員	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	51	眼科専門医	13
外科専門医	57	耳鼻咽喉科専門医	13
精神科専門医	3	放射線科専門医	21
小児科専門医	18	脳神経外科専門医	9
皮膚科専門医	2	整形外科専門医	20
泌尿器科専門医	11	麻酔科専門医	19
産婦人科専門医	13	救急科専門医	12
		合計	262

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (松田 公志) 任命年月日 令和 3 年 4 月 1 日

2006年1月1日～2010年3月31日 安全対策委員(セーフティマネージャー)
 2020年4月1日～2021年3月31日 医療安全管理責任者
 2021年4月1日～現在 医療安全管理センター 兼務

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	779.4 人	3.4 人	776 人
1日当たり平均外来患者数	2109.9 人	62.6 人	2172.5 人
1日当たり平均調剤数		1114	剤
必要医師数		145	人

必要歯科医師数	5	人
必要薬剤師数	40	人
必要(准)看護師数	461	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	
集中治療室	1092.4 m ²	RC	病床数 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	53 床	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー	
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	151.5	m ²	病床数	14 床
	[移動式の場合]	台数	0	台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	53		m ²	
	[共用室の場合]	共用する室名	病棟業務課			
化学検査室	405.3 m ²		(主な設備)	AU-5800、Atellica、Alinity、XR-9000、CN-6000		
細菌検査室	112.9 m ²		(主な設備)	BACT/ALERT VIRTUO、VITEK MS PRIME、安全キャビネット		
病理検査室	299.9 m ²		(主な設備)	カセット印字機、スライド印字機、パラフィン浸透機、免疫染色機		
病理解剖室	118.9 m ²		(主な設備)	パラフィン浸透機、包埋センター、マイクローム		
研究室	8193.8 m ²		(主な設備)	顕微鏡、冷却遠心機、インキュベーター		
講義室	363.4 m ²		室数	2 室	収容定員	210 人
図書室	1135.2 m ²		室数	1 室	蔵書数	52000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	84.5	%	逆紹介率	74.5	%
算出根拠	A: 紹介患者の数			22585	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			21131	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			1397	人
	D: 初診の患者の数			28372	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
藤本 良知	枚方市医師会名誉会長	○	地域医療に関する学識経験者	無	1

森田 眞照	市立ひらかた病院顧問		病院機能に関する学識経験者	無	1
永井 仁美	茨木保健所所長		公衆衛生に関する学識経験者	無	1
吉野 敬昌	枚方信用金庫理事長		医療を受ける側の代表者	無	2
谷川 昇	関西医科大学医学部 放射線科学講座教授		医療に関する学識経験者	有	1
蔦 幸治	関西医科大学 臨床病理学講座教授		臨床病理に関する学識経験者	有	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
本学ホームページにて公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	8	56	ベーチェット病	59
2	筋萎縮性側索硬化症	31	57	特発性拡張型心筋症	57
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	11
4	原発性側索硬化症	2	59	拘束型心筋症	2
5	進行性核上性麻痺	32	60	再生不良性貧血	39
6	パーキンソン病	195	61	自己免疫性溶血性貧血	4
7	大脳皮質基底核変性症	9	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	1	63	免疫性血小板減少症	103
9	神経有棘赤血球症		64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	4	65	原発性免疫不全症候群	7
11	重症筋無力症	122	66	IgA 腎症	70
12	先天性筋無力症候群		67	多発性嚢胞腎	64
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	52	68	黄色靱帯骨化症	34
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／ 多巣性運動ニューロパチー	28	69	後縦靱帯骨化症	127
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	6
16	クロー・深瀬症候群		71	特発性大腿骨頭壊死症	28
17	多系統萎縮症	18	72	下垂体性ADH分泌異常症	19
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	49	73	下垂体性TSH分泌亢進症	
19	ライソゾーム病	10	74	下垂体性PRL分泌亢進症	4
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	5
21	ミトコンドリア病	6	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
22	もやもや病	31	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	8
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	46
24	亜急性硬化性全脳炎		79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	
25	進行性多巣性白質脳症		80	甲状腺ホルモン不応症	
26	HTLV-1関連脊髄症	19	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
27	特発性基底核石灰化症		82	先天性副腎低形成症	
28	全身性アミロイドーシス	17	83	アジソン病	
29	ウルリッヒ病		84	サルコイドーシス	67
30	遠位型ミオパチー		85	特発性間質性肺炎	18
31	ベスレムミオパチー		86	肺動脈性肺高血圧症	8
32	自己貪食空胞性ミオパチー		87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	
33	シュワルツ・ヤンベル症候群		88	慢性血栓性肺高血圧症	13
34	神経線維腫症	25	89	リンパ脈管筋腫症	3
35	天疱瘡	16	90	網膜色素変性症	22
36	表皮水疱症		91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	32	92	特発性門脈圧亢進症	
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性胆管炎	35
39	中毒性表皮壊死症		94	原発性硬化性胆管炎	7
40	高安動脈炎	11	95	自己免疫性肝炎	26
41	巨細胞性動脈炎	14	96	クローン病	193
42	結節性多発動脈炎	4	97	潰瘍性大腸炎	423
43	顕微鏡的多発血管炎	57	98	好酸球性消化管疾患	4
44	多発血管炎性肉芽腫症	12	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	29	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	
46	悪性関節リウマチ	19	101	腸管神経節細胞減少症	
47	パージャール病	2	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	
49	全身性エリテマトーデス	284	104	コステロ症候群	
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	127	105	チャージ症候群	
51	全身性強皮症	124	106	クリオピリン関連周期熱症候群	
52	混合性結合組織病	43	107	若年性特発性関節炎	3
53	シェーグレン症候群	74	108	TNF受容体関連周期性症候群	
54	成人発症ステル病	18	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	15	110	ブラウ症候群	
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	209	完全大血管転位症	2
112	マリネスコ・シェーグレン症候群		210	単心室症	1
113	筋ジストロフィー	17	211	左心低形成症候群	
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群		212	三尖弁閉鎖症	1
115	遺伝性周期性四肢麻痺	2	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	
116	アトピー性脊髄炎	1	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	
117	脊髄空洞症	2	215	ファロー四徴症	2
118	脊髄髄膜瘤	3	216	両大血管右室起始症	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

119	アイザックス症候群		217	エプスタイン病	
120	遺伝性ジストニア		218	アルポート症候群	1
121	脳内鉄沈着神経変性症		219	ギャロウェイ・モフト症候群	
122	脳表ヘモジデリン沈着症		220	急速進行性糸球体腎炎	3
123	HTRA1関連脳小血管病		221	抗糸球体基底膜腎炎	
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	222	一次性ネフローゼ症候群	51
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症		223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1
126	ペリー病		224	紫斑病性腎炎	3
127	前頭側頭葉変性症	1	225	先天性腎性尿崩症	
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症		227	オスラー病	3
130	先天性無痛無汗症		228	閉塞性細気管支炎	
131	アレキサンダー病		229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2
132	先天性核上性球麻痺		230	肺胞低換気症候群	
133	メビウス症候群		231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群		232	カーニー複合	1
135	アイカルディ症候群		233	ウォルフラム症候群	
136	片側巨脳症		234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	
137	限局性皮質異形成		235	副甲状腺機能低下症	1
138	神経細胞移動異常症		236	偽性副甲状腺機能低下症	
139	先天性大脳白質形成不全症		237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	
140	ドラベ症候群		238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん		239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	
142	ミオクロニー欠神てんかん		240	フェニルケトン尿症	
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん		241	高チロシン血症1型	
144	レノックス・ガストー症候群	1	242	高チロシン血症2型	
145	ウエスト症候群		243	高チロシン血症3型	
146	大田原症候群		244	メープルシロップ尿症	
147	早期ミオクロニー脳症		245	プロピオン酸血症	
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん		246	メチルマロン酸血症	
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群		247	イソ吉草酸血症	
150	環状20番染色体症候群		248	グルコーストランスporter-1欠損症	
151	ラスマッセン脳炎		249	グルタル酸血症1型	
152	PCDH19関連症候群		250	グルタル酸血症2型	
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎		251	尿素サイクル異常症	
154	睡眠時棘徐波活性化を示す発達性てんかん性脳症及びてんかん性脳症		252	リジン尿性蛋白不耐症	
155	ランドウ・クレフナー症候群		253	先天性葉酸吸収不全	
156	レット症候群	1	254	ボルフィリン症	
157	スタージ・ウェーバー症候群		255	複合カルボキシラーゼ欠損症	
158	結節性硬化症	4	256	筋型糖原病	1
159	色素性乾皮症		257	肝型糖原病	
160	先天性魚鱗癬		258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	
161	家族性良性慢性天疱瘡	2	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	19	260	シトステロール血症	
163	特発性後天性全身性無汗症	1	261	タンジール病	
164	眼皮膚白皮症		262	原発性高カイトロミクロン血症	1
165	肥厚性皮膚骨膜炎		263	脳腫黄色腫症	
166	弾性線維性仮性黄色腫	1	264	無 β リポタンパク血症	
167	マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群	8	265	脂肪萎縮症	
168	エーラス・ダンロス症候群		266	家族性地中海熱	5
169	メンケス病		267	高IgD症候群	
170	オクシピタル・ホーン症候群		268	中條・西村症候群	
171	ウィルソン病	2	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	
172	低ホスファターゼ症		270	慢性再発性多発性骨髄炎	
173	VATER症候群		271	強直性脊椎炎	21
174	那須・ハコラ病		272	進行性骨化性線維異形成症	
175	ウィーバー症候群		273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	
176	コフィン・ローリー症候群		274	骨形成不全症	2
177	ジュベール症候群関連疾患		275	タナトフォリック骨異形成症	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

178	モット・ウィルソン症候群		276	軟骨無形成症	
179	ウィリアムズ症候群		277	リンパ管腫症/ゴーハム病	
180	ATR-X症候群		278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	
181	クルーゾン症候群		279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	
182	アペール症候群		280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2
183	ファイファー症候群		281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	
184	アントレー・ピクスラー症候群		282	先天性赤血球形成異常性貧血	
185	コフィン・シリス症候群		283	後天性赤芽球癆	
186	ロスマンド・トムソン症候群		284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	
187	歌舞伎症候群		285	ファンコニ貧血	
188	多脾症候群		286	遺伝性鉄芽球性貧血	
189	無脾症候群		287	エプスタイン症候群	
190	鰓耳腎症候群		288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	4
191	ウェルナー症候群		289	クロンカイト・カナダ症候群	2
192	コケイン症候群		290	非特異性多発性小腸潰瘍症	
193	プラダー・ウィリ症候群	1	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	
194	ソトス症候群		292	総排泄腔外反症	
195	ヌーナン症候群		293	総排泄腔遺残	1
196	ヤング・シンプソン症候群		294	先天性横隔膜ヘルニア	
197	1p36欠失症候群		295	乳幼児肝巨大血管腫	
198	4p欠失症候群		296	胆道閉鎖症	
199	5p欠失症候群		297	アラジール症候群	
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群		298	遺伝性膀胱炎	
201	アンジェルマン症候群		299	嚢胞性線維症	
202	スミス・マギニス症候群		300	IgG4関連疾患	63
203	22q11.2欠失症候群		301	黄斑ジストロフィー	1
204	エマヌエル症候群		302	レーベル遺伝性視神経症	
205	脆弱X症候群関連疾患		303	アッシャー症候群	
206	脆弱X症候群		304	若年発症型両側性感音難聴	1
207	総動脈幹遺残症		305	遅発性内リンパ水腫	
208	修正大血管転位症		306	好酸球性副鼻腔炎	138
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナパン病		331	特発性多中心性キャッスルマン病	6
308	進行性白質脳症		332	膠様滴状角膜ジストロフィー	
309	進行性ミオクローヌスてんかん		333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	
310	先天異常症候群		334	脳クレアチン欠乏症候群	
311	先天性三尖弁狭窄症	1	335	ネフロン癆	
312	先天性僧帽弁狭窄症		336	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合)	
313	先天性肺静脈狭窄症		337	ホモシチン尿症	1
314	左肺動脈右肺動脈起始症		338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/ LMX1B関連腎症		339	MECP2重複症候群	
321	非ケトーシス型高グリシン血症		340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	
322	β-ケトチオラーゼ欠損症		341	TRPV4異常症	
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症				
324	メチルグルタコン酸尿症				
325	遺伝性自己炎症疾患				
326	大理石骨病				
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2			
328	前眼部形成異常				
329	無虹彩症				
330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	1			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	132
合計患者数(人)	3475

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医療DX推進体制整備加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科外来診療感染対策加算4	・呼吸ケアチーム加算
・特定機能病院入院基本料	・後発医薬品使用体制加算1
・入院栄養管理体制加算(注11)	・病棟薬剤業務実施加算1
・救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・超急性期脳卒中加算	・データ提出加算
・診療録管理体制加算1	・入退院支援加算
・医師事務作業補助体制加算1のイ 15対1	・入院時支援加算2
・急性期看護補助体制加算1 25対1(看護補助者5割以上)	・認知症ケア加算
・夜間100対1急性期看護補助体制加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・看護補助体制充実加算②(注4)	・精神疾患診療体制加算
・看護職員夜間配置加算1のイ 12対1	・精神疾患診療体制加算
・療養環境加算	・排尿自立支援加算
・重症者等療養環境特別加算	・地域医療体制確保加算
・無菌治療室管理加算1	・救命救急入院料1
・無菌治療室管理加算2	・救命救急入院料4
・緩和ケア診療加算	・精神疾患診断治療初回加算(イを算定する場合に限る。) (注2)
・小児緩和ケア診療加算	・早期栄養介入管理加算(注9)
・精神科リエゾンチーム加算	・特定集中治療室管理料2
・摂食障害入院医療管理加算	・新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料
・リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算	・早期離床リハビリテーション加算(救命救急入院料の注8)
・栄養サポートチーム加算	・早期離床リハビリテーション加算(ハイケアユニット入院医療管理料 の注3)
・医療安全対策加算1	・総合周産期特定集中治療室管理料
・感染対策向上加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・指導強化加算(注2)	・小児入院医療管理料1

・患者サポート体制充実加算	・無菌治療管理加算2（注5）
・報告書管理体制加算	・養育支援体制加算（注7）
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・短期滞在手術等基本料1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料(注3)	・耳管用補綴材挿入術
・遠隔モニタリング加算(ペースメーカー指導管理料)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。)
・糖尿病合併症管理料	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・がん患者指導管理料イ	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・がん患者指導管理料ロ	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・がん患者指導管理料ハ	・乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・がん患者指導管理料ニ	・乳癌センチネルリンパ節生検加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・外来緩和ケア管理料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・糖尿病透析予防指導管理料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・小児運動器疾患指導管理料	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・婦人科特定疾患治療管理料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・腎代替療法指導管理料	・胸腔鏡下弁形成術・弁置換術
・一般不妊治療管理料	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)
・生殖補助医療管理料1	・経皮的僧帽弁クリップ術
・二次性骨折予防継続管理料1	・不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
・二次性骨折予防継続管理料3	・経皮的中隔心筋焼灼術
・外来放射線照射診療料	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・外来腫瘍化学療法診療料1	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・連携充実加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)

・ニコチン依存症管理料	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
・がん治療連携計画策定料	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・外来排尿自立指導料	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・薬剤管理指導料	・経皮的下肢動脈形成術
・地域連携診療計画加算	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・医療機器安全管理料1	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・医療機器安全管理料2	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・歯科治療時医療管理料	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・禁煙治療補助システム指導管理加算	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	・腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・遺伝学的検査	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・染色体検査の注2に規定する基準	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・骨髄微小残存病変量測定	・体外衝撃波胆石破碎術
・BRCA1/2遺伝子検査	・腹腔鏡下肝切除術
・がんゲノムプロファイリング検査	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・先天性代謝異常症検査	・腹腔鏡下胆道閉鎖症手術
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・生体部分肝移植術
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・体外衝撃波膵石破碎術
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・検体検査管理加算(I)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・検体検査管理加算(IV)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・国際標準検査管理加算	・腹腔鏡下膵中央切除術

・遺伝カウンセリング加算	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・胎児心エコー法	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ヘッドアップティルト試験	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・皮下連続式グルコース測定	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・脳波検査判断料1	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・神経学的検査	・同種死体腎移植術
・補聴器適合検査	・生体腎移植術
・黄斑局所網膜電図	・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・全視野精密網膜電図	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・ロービジョン検査判断料	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・コンタクトレンズ検査料1	・人工尿道括約筋植込・置換術
・内服・点滴誘発試験	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・センチネルリンパ節生検(片側)	・精巣内精子採取術
・CT透視下気管支鏡検査加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・画像診断管理加算4	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・ポジトロン断層撮影	・腹腔鏡下仙骨腔固定術
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・CT撮影及びMRI撮影	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・冠動脈CT撮影加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・外傷全身CT加算	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・心臓MRI撮影加算	・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
・乳房MRI撮影加算	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・頭部MRI撮影加算	・無心体双胎焼灼術(一連につき)
・全身MRI撮影加算	・胎児輸血術(一連につき)及び臍帯穿刺
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・体外式膜型人工肺管理料

・外来化学療法加算1	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・無菌製剤処理料	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・がん患者リハビリテーション料	・輸血管管理料Ⅰ
・歯科口腔リハビリテーション料2	・輸血適正使用加算
・認知療法・認知行動療法1	・自己生体組織接着剤作成術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・同種クリオプレシピテート作製術
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1	・歯根端切除手術の注3
・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	・レーザー機器加算
・多血小板血漿処置	・麻酔管理料(Ⅰ)
・硬膜外自家血注入	・麻酔管理料(Ⅱ)
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・放射線治療専任加算
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・外来放射線治療加算
・人工腎臓	・高エネルギー放射線治療
・導入期加算1	・一回線量増加加算
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・強度変調放射線治療(IMRT)
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・体外照射呼吸性移動対策加算
・下肢末梢動脈疾患指導管理加算	・定位放射線治療
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・画像誘導密封小線源治療加算
・手術用顕微鏡加算	・保険医療機関間の連携による病理診断
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・病理診断管理加算
・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・皮膚移植術(死体)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・自家脂肪注入	・腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法

・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・椎間板内酵素注入療法	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・コーディネート体制充実加算
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・慢性腎臓病透析予防指導管理料
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・プログラム医療機器等指導管理料
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・経頸静脈的肝生検
・舌下神経電気刺激装置植込術	・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
・角結膜悪性腫瘍切除術	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・羊膜移植術	・緊急穿頭血腫除去術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))	・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	・看護職員処遇改善評価料58
・網膜再建術	・外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	・歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
・人工中耳植込術	・入院ベースアップ評価料64
・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
慢性疼痛患者の人格特性が治療予後に与える影響の検討	水野 泰行	心療内科学講座	1,430,000	補委 日本学術振興会科研費
MSI-H/dMMR大腸癌に対する術前PD-1阻害薬のマルチオミクス解析による治療効果予測	渡邊 純	下部消化管外科学講座	1,950,000	補委 日本学術振興会科研費
オキサリプラチンの至適投与法に関する研究	金井 雅史	がんセンター	1,950,000	補委 日本学術振興会科研費
次世代緩和的小線源治療の確立のための新型国産HDR-RALSの開発の検討	吉田 謙	放射線科学講座	2,210,000	補委 日本学術振興会科研費
小児のステロイド抵抗性ネフローゼ症候群における腸内細菌叢の乱れと新規治療薬開発	山内 壮作	小児科学講座	650,000	補委 日本学術振興会科研費
膵癌における一塩基多型と細菌叢プロファイルの関係性の解明	中山 新士	内科学第三講座	2,470,000	補委 日本学術振興会科研費
人工知能による急性心筋梗塞前駆病変の自動診断技術の開発	藤井 健一	内科学第二講座	2,340,000	補委 日本学術振興会科研費
治療抵抗性肝細胞癌に対する抗癌剤内包型フォロニオン修飾リポソームを用いた新規治療法開発	海堀 昌樹	肝臓外科学講座	1,560,000	補委 日本学術振興会科研費
食道癌集学的治療における新規支持療法の開発	山崎 誠	上部消化管外科学講座	2,340,000	補委 日本学術振興会科研費
麻酔中の脳波モニタリングを元にした鎮痛制御法の開発	萩平 哲	麻酔科学講座	1,690,000	補委 日本学術振興会科研費
院外心停止症例に対するアドレナリン静脈投与又は骨髄投与の生存転帰に関する比較検討	梶野 健太郎	救急医学講座	1,690,000	補委 日本学術振興会科研費
遺伝的修飾効果による二分脊椎発症メカニズムの解明	武田 純一	脳神経外科学講座	1,430,000	補委 日本学術振興会科研費
脊髄髄膜瘤の病態発生の分子遺伝学的解明	磯崎 春菜	脳神経外科学講座	1,430,000	補委 日本学術振興会科研費
筋層非浸潤性尿路上皮癌に対する次世代光免疫療法を用いた革新的非観血治療法の開発	木下 秀文	腎泌尿器外科学講座	3,250,000	補委 日本学術振興会科研費
HELLP症候群における補体制御因子の遺伝子変化的探索研究	森川 守	産科学・婦人科学講座	1,690,000	補委 日本学術振興会科研費
卵巣内低酸素における細胞老化の機序解明と新規治療基盤の構築	西垣 明実	産科学・婦人科学講座	1,690,000	補委 日本学術振興会科研費
緑内障における全身のdysbiosisの解明とラクトフェリンによる新規治療の開発	佐々木 香る	眼科学講座	2,210,000	補委 日本学術振興会科研費
正常な表情発現のための顔面表情筋の複合的作用機序の解明	益岡 弘	形成外科学講座	1,690,000	補委 日本学術振興会科研費
リアルワールドデータを用いたCOVID-19におけるECMO治療の予後、費用効果分析	梅垣 岳志	麻酔科学講座	1,950,000	補委 日本学術振興会科研費
麻痺肢推進力を伴う歩きを片麻痺患者自身に選択させる足関節機能再建の方略	田口 周	リハビリテーション医学講座	1,560,000	補委 日本学術振興会科研費
蛋白付着抑制コートはバイオフィルム形成を阻止しカテーテルへの細菌付着を妨げるか？	狩谷 秀治	放射線科学講座	390,000	補委 日本学術振興会科研費
起立性調節障害児のデコンディショニングに対するトレーニングプログラムの開発	石崎 優子	小児科学講座	260,000	補委 日本学術振興会科研費
オミックスと長期評価による適切なゴールを目指す気分障害の革新的治療の基盤構築	加藤 正樹	精神神経科学講座	1,820,000	補委 日本学術振興会科研費
リンパ還流障害の中核に画像ガイド下でリンパ管-静脈バイパスを作成する動物実験	丸山 拓士	放射線科学講座	650,000	補委 日本学術振興会科研費
精神分析的な精神療法は自閉スペクトラム症患者的のミラーニューロンシステムを補強するか	齊藤 幸子	精神神経科学講座	130,000	補委 日本学術振興会科研費
PMEAコーティングの生体内長期抗菌効果の証明	小野 泰之	放射線科学講座	910,000	補委 日本学術振興会科研費
ヒト脂肪幹細胞の陰圧負荷培養を応用した創傷治癒・血管新生効果の解明と応用	覚道 奈津子	形成外科学講座	910,000	補委 日本学術振興会科研費
CT透視ガイド下穿刺を姿勢制御技術を搭載したデバイスで補助する研究	中谷 幸	放射線科学講座	520,000	補委 日本学術振興会科研費
位相差顕微鏡ならびに蛍光細胞染色を用いた迅速細胞診の精度向上への試み	蔦 幸治	病理学講座	650,000	補委 日本学術振興会科研費
遺伝性乳癌卵巣癌症候群の乳癌発症機構の解明を基軸とした予防的乳房切除の指標確立	矢内 洋次	乳腺外科学講座	1,300,000	補委 日本学術振興会科研費
膵癌腹膜播種における新規ターゲットに対する光免疫療法の開発	橋本 大輔	胆膵外科学講座	650,000	補委 日本学術振興会科研費
組織表現型に基づいた腎癌オルガノイドの樹立と新規治療戦略の創出	吉田 崇	腎泌尿器外科学講座	1,560,000	補委 日本学術振興会科研費

腫瘍性膵嚢胞および膵癌の発癌早期予測を可能にする新規バイオマーカーの開発の研究	島谷 昌明	内科学第三講座	1,950,000	補委	日本学術振興会科研費
樹状細胞をターゲットにした、JAK阻害の有効性と副次反応の一元的機序解明	伊藤 量基	内科学第一講座	1,300,000	補委	日本学術振興会科研費
緊張病の分子生物学的病態解明を目指した横断/縦断研究	嶽北 佳輝	精神神経科学講座	130,000	補委	日本学術振興会科研費
積極的骨転移診療に向けた放射線治療適応スコアの開発	中村 聡明	放射線科学講座	910,000	補委	日本学術振興会科研費
根治不能肝細胞癌に対するEphA2遺伝子を標的とした新規核酸医薬の開発	石崎 守彦	肝臓外科学講座	130,000	補委	日本学術振興会科研費
蛋白翻訳プロセスから探る腎と神経発達障害の分子機構	塚口 裕康	内科学第二講座	910,000	補委	日本学術振興会科研費
セマフォリン4Aから迫る移植後大量エンドキサン療法最適化のための基礎的研究	佐竹 敦志	内科学第一講座	1,820,000	補委	日本学術振興会科研費
肝胆膵癌に対する高侵襲手術におけるせん妄の病態探求および術後経過との関連性の検討	船規 紀也	精神神経科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会科研費
光免疫療法による腹膜播種膵癌に対する新規治療法の確立	里井 壯平	胆膵外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科研費
敗血症ショックに対するチアゾリン類恐怖臭物質を利用した新たな循環管理法の開発	鉄方 安行	救急医学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会科研費
腸管虚血再灌流障害の軽減のための薬剤・チアゾリン類恐怖臭の効果の検討	室谷 卓	救急医学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会科研費
AMPA受容体をターゲットとしたグリオーマの創薬基盤	李 強	脳神経外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科研費
脊椎脊髄術中神経生理モニタリングの精度の向上に関する研究	安藤 宗治	整形外科科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科研費
同所性同種膀胱癌モデルマウスを用いた免疫チェックポイント阻害剤感受性因子の解明	佐野 剛視	腎泌尿器外科学講座	780,000	補委	日本学術振興会科研費
骨髄細胞接種による老人性難聴予防の検討	岩井 大	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会科研費
LTPB2遺伝子欠損マウスに外的刺激アドオンによる落屑症候群モデルマウスの作成	盛 秀嗣	眼科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会科研費
遺伝性乳癌卵巣癌患者のリスク低減乳房切除術とQOLの関連検討	佐藤 智佳	産科学・婦人科学講座	130,000	補委	日本学術振興会科研費
外来化学療法中の進行・再発がん患者の包括的がんリハビリテーションプログラムの開発	勝島 詩恵	呼吸器腫瘍内科学講座	780,000	補委	日本学術振興会科研費
不眠障害に対する振動覚を用いた個人特有の在宅共鳴呼吸法の確立と機序の解明	蓮尾 英明	心療内科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会科研費
グリオーマの浸潤を標的としたバイオマーカーの確立	山村 奈津美	脳神経外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科研費
放射線医療ドメイン特化型の大規模言語モデルの開発	武川 英樹	放射線科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会科研費
肝細胞癌に対する複合免疫療法の効果を予測する新規イメージングバイオマーカー探求	鶴崎 正勝	放射線科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会科研費
細胞老化の蓄積解除から切り開く新規肝疾患治療法の基盤開発	山口 隆志	内科学第三講座	1,170,000	補委	日本学術振興会科研費
オミックス解析・単一細胞解析情報を統合した原発性胆汁性胆管炎の新規治療戦略の樹立	下田 慎治	内科学第三講座	1,820,000	補委	日本学術振興会科研費
細胞外小胞を応用した肥満糖尿病の新規治療戦略の開発	入江 潤一郎	内科学第二講座	1,170,000	補委	日本学術振興会科研費
ヒルシュスブルング病におけるパネート細胞による腸管免疫についての検証	中村 弘樹	小児外科学講座	780,000	補委	日本学術振興会科研費
抗癌剤内包型ワロシオン修飾リソームを用いた治療抵抗性胆管癌に対する新規治療法開発	松井 康輔	肝臓外科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会科研費
胆道がんに対するEphA2を標的とした抗体医薬の開発—光感受物質と核酸医薬の融合—	中竹 利知	胆膵外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科研費
NRF2/Keap1経路に着目した膵癌予後因子アディポフィン発現機序の解明	山木 壮	胆膵外科学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会科研費
精密医療実現に向けたゲノム・オミックス情報に基づく心大動脈疾患の分子病態研究	岡田 隆之	心臓血管外科学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会科研費
糖鎖抗原MECA-79に着目した肺腺がん高悪性度化メカニズムの解明	齊藤 朋人	呼吸器外科学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会科研費
Augmented Reality技術を応用した脊髄幹麻酔のための穿刺針ガイドシステムの開発研究	吉田 敬之	麻酔科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会科研費
iNOSを標的とした機能付加型核酸医薬による難治性敗血症の攻略	柳田 英佐	胆膵外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科研費
ヒト難治性敗血症に対するインターロイキン受容体の制御を標的とした核酸医薬の開発	北出 浩章	胆膵外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会科研費
がん幹細胞を標的とした転移性脳腫瘍の治療薬の開発	吉村 晋一	脳神経外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科研費
二分脊椎症の責任遺伝子の同定	埜中 正博	脳神経外科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会科研費

精液マイクロバイオーム解析に基づく膿精液症の実態解明と妊孕性に及ぼす影響の検討	谷口 久哲	腎泌尿器外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科研費
疾患特異的iPS細胞を用いた褐色細胞腫・パラグングリオーマの転移・進展機構の解明	滝澤 奈恵	腎泌尿器外科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会科研費
絨毛外栄養膜細胞の最適な脱落膜浸潤へと導く子宮内膜間質細胞の分子機構を解明する	村田 紘未	産科学・婦人科学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会科研費
味蕾形成機構の解明を基軸とした機能的味蕾誘導法の開発	吉田 真子	病理学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会科研費
フィブリノーゲン/ICAM-1シグナル伝達に着目した糖尿病網膜症の病態解明	今井 尚徳	眼科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会科研費
日本人に多い1型脳小血管病の新規病態説明因子探索と重症化予測モデルの構築	薬師寺 祐介	神経内科学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会科研費
遺伝性乳癌卵巣癌症候群乳癌症例に対する近赤外光免疫療法の開発	木川 雄一郎	乳腺外科学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会科研費
うつ病を合併した慢性疼痛への経頭蓋磁気刺激の効果と脳機能変化の検討	佃 万里	精神神経科学講座	780,000	補委	日本学術振興会科研費
量子コンピューターを用いた細胞線量応答モデルの構築	姉帯 優介	放射線科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科研費
先天性ネフローゼ症候群における免疫抑制薬作用機序の解明：ヒトiPS細胞を用いた検討	保田 真宏	小児科学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会科研費
ダブルバルーン小腸内視鏡を用いた好酸球性小腸炎の臨床的背景の確立	山階 武	内科学第三講座	1,690,000	補委	日本学術振興会科研費
小細胞肺癌オルガノイドを用いた癌免疫再現系における免疫環境解析	山中 雄太	呼吸器腫瘍内科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会科研費
腎糸球体硬化に関わる細胞骨格制御のネットワークの解明	上田 啓子	内科学第二講座	1,950,000	補委	日本学術振興会科研費
チアゾリン類恐怖臭による肝切除後敗血症・肝不全に対する生命保護効果の検討	松島 英之	肝臓外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会科研費
難治性脳形成障害の新規治療法の実現に向けた疾患発症メカニズムの原因解明	小森 裕美子	脳神経外科学講座	3,380,000	補委	日本学術振興会科研費
プロゲステロンの妊娠子宮における“非ゲノム作用”の下流シグナルの解明	吉田 彩	産科学・婦人科学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会科研費
臨床応用を目指した骨髄移植による加齢性難聴の予防法とその機序の検討	三谷 彰俊	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会科研費
ナトリウムヨウ素共輸送体の機能亢進と腫瘍血管正常化によるI-131抵抗性の克服	鈴木 健介	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科研費
イヤホン型センサの臨床応用へ向けた嚙下の鑑別と嚙下障害の特徴把握	吉本 拓登	健康科学センター	1,690,000	補委	日本学術振興会科研費
SCIM SR の日本語版の作成と妥当性の検討	竹内 翔	リハビリテーション医学講座	100,000	補委	日本学術振興会科研費
悪性腫瘍に対する新たな放射線塞栓療法の実現	河野 由美子	放射線科学講座	0	補委	日本学術振興会科研費
フォーカシングの精神科領域臨床応用のための無作為化比較試験：うつ病とQOL	越川 陽介	精神神経科学講座	520,000	補委	日本学術振興会科研費
ECTにおけるけいれん発作の成否を包括的に定量化するレジストリ研究とその検証	青木 宣篤	精神神経科学講座	650,000	補委	日本学術振興会科研費
膵管内乳頭粘液性腫瘍に対する制御性T細胞を中心とした新規バイオマーカーの探索	伊藤 嵩志	内科学第三講座	130,000	補委	日本学術振興会科研費
口腔腫瘍性病変表層に特異的に発現する新規分化関連タンパク質の発現と作用機序の解析	野田 百合	病理学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会科研費
神経栄養因子NRG1を標的とした脳アミロイドアンギオパチーの病態解明と治療薬の探索	村上 綾	神経内科学講座	780,000	補委	日本学術振興会科研費
セロトニン系を標的とした新規治療法開発に資するレボドパ誘発性ジスキネジア病態解明	峠 理絵	神経内科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会科研費
Dual energy CTに基づくエネルギー特異的Radiomics解析：頭頸部癌予後予測モデル開発	小池 優平	放射線科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会科研費
SGLT2阻害剤の免疫細胞への影響と心不全予後を改善するメカニズムの解明	堀谷 啓太	内科学第二講座	1,300,000	補委	日本学術振興会科研費
ある脱ユビキチン化酵素が標的とする転写因子の探索を通じた赤血球造血機構の解明	大町 太一	小児科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会科研費
浸潤突起に着目した大腸直腸癌の予後不良因子“粘液腫状間質”形成メカニズムの解明	小林 壽範	下部消化管外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会科研費
開放骨折症例での迅速感染症診断を可能にする超小型シークエンスシステムの確立	尾上 敦規	救急医学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会科研費
ガレクチン1とS100A8の時空的発現不均衡からみた好酸球性副鼻腔炎への新規創薬	尹 泰貴	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科研費
看護師が行う超音波画像診断装置を用いたGastric outlet obstruction評価方法の開発	佐久間 博子	心療内科学講座	650,000	補委	日本学術振興会科研費
空間トランスクリプトーム解析による前立腺癌導管内浸潤マーカーの同定と機能解析	池田 純一	腎泌尿器外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科研費
肺がんにおける下気道細菌叢が免疫チェックポイント阻害剤効果に及ぼす影響の解明	竹安 優貴	呼吸器腫瘍内科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会科研費

空間トランスクリプトーム解析による小径腎細胞癌の転移予測マーカーの同定と機能解析	大杉 治之	腎泌尿器外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会科研費
注意欠如・多動症特性を有するうつ病に対する薬物療法の最適化及び生物学的基盤の探索	緒方 治彦	精神神経科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会科研費
IgE依存性アレルギーマウスモデルでの好塩基球に着目した特発性蕁麻疹の病態検討	岸本 泉	皮膚科学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会科研費
静脈麻酔薬レミマゾラムによるインスリン分泌抑制機序の解明	楠 宗矩	麻酔科学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会科研費
ラット重症熱中症モデルに対する2-methyl-2-thiazolineの効果の検討	中村 文子	救急医学講座	910,000	補委	日本学術振興会科研費
神経再生領域におけるバイオマーカーとしての神経誘発磁界計測のエビデンス構築	朴 正旭	整形外科科学講座	520,000	補委	日本学術振興会科研費
癌脳転移を抑制する抗腫瘍薬の分子作用機構解明	仲矢 丈雄	病理学講座	2,340,000	補委	日本学術振興会科研費
肝細胞癌に対する複合免疫療法の効果を予測する新規イメージングバイオマーカー探求	鶴崎 正勝	放射線科学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会科研費
細胞外小胞を応用した肥満糖尿病の新規治療戦略の開発	入江 潤一郎	内科学第二講座	1,690,000	補委	日本学術振興会科研費
フィブリノーゲン/ICAM-1シグナル伝達に着目した糖尿病網膜症の病態解明	今井 尚徳	眼科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科研費
慢性疼痛診療システム均てん化等事業費	水野 泰之	心療内科学	20,000,000	補委	厚生労働省
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	池浦 司	内科学第三	500,000	補委	厚生労働省
ペーチェット病に関する調査研究	長沼 誠	内科学第三	200,000	補委	厚生労働省
神経変性疾患領域における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究	長沼 誠	内科学第三	300,000	補委	厚生労働省
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準並びに患者QOLの向上のための調査研究	埜中 正博	脳神経外科学	800,000	補委	厚生労働省
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準並びに患者QOLの向上のための調査研究	濱田 吉則	小児外科学	150,000	補委	厚生労働省
サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築	齋藤 貴徳	整形外科科学	3,000,000	補委	厚生労働省
痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	中本 達夫	麻酔科学	200,000	補委	厚生労働省
電子カルテと連携した薬液バッグの遠隔自動切り換え装置の開発	金井 雅史	がんセンター	19,500,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
インプラント周囲感染および骨軟部組織感染症、手術部位感染の迅速診断と MRSA/MRCNSおよび緑膿菌に対する抗菌薬選択が可能な遺伝子迅速検査の開発 (シーズ管理番号【A-225】)	植田 成実	整形外科科学講座	3,000,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
確実な深部超音波ガイド下穿刺実現のための空間位置キャプチャーを用いたMixed Reality ナビゲーションシステムの開発 (シーズ管理番号【A-223】)	中本 達夫	麻酔科学講座	1,910,400	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
アジアの高い腎不全リスクの背景にある未知なる遺伝・環境要因の探索	塚口 裕康	内科学第二講座	2,000,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
脊磁計による神経機能情報を活用した新たな診断技術の確立	齋藤 貴徳	整形外科科学講座	0	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
HPVワクチンの長期的効果およびキャッチアップ接種の有効性の評価のための大規模疫学研究	岡田 英孝	産科学・婦人科学講座	0	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第III相試験	井上 健太郎	上部消化管外科学講座	130,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
進行食道胃接合部腺癌に対する標準的な周術期治療の開発研究	井上 健太郎	上部消化管外科学講座	65,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
慢性中心性漿液性脈絡網膜症に対するレーザー照射エネルギー減量光線力学的療法の有効性及び安全性を検証する医師主導治験	大中 誠之	眼科学講座	6,500,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
Polygenicモデルと薬物動態学に基づく精神疾患治療反応予測法開発	加藤 正樹	精神神経科学講座	16,900,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
実用化に向けた次世代抗がんヘルペスウイルスの非臨床と製造工程開発	海堀 昌樹	肝臓外科学講座	6,500,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
ステロイドマウスウォッシュによる乳癌化学療法誘因性の口腔粘膜炎予防を検討する第III相ランダム化比較試験	木川 雄一郎	乳腺外科学講座	52,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
悪性腹水を伴う microsatellite stable (MSS) の進行期消化器癌(胃癌・膵癌)患者に対する GAIA-102 の腹腔内反復投与の医師主導治験 (Phase I/II)	里井 壯平	胆膵外科学講座	1,300,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
レジストリを活用したペーチェット病の予後不良病型発症予防のための treat-to-target 開発	長沼 誠	内科学第三講座	260,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)

がん患者のオピオイド不応の神経障害性疼痛への標準的薬物療法の開発：国際共同試験ならびに普及実装に向けた研究	蓮尾 英明	心療内科学講座	390,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
ロメリジン塩酸塩によるCADASIL患者に対する脳虚血イベント再発抑制	薬師寺 祐介	神経内科学講座	65,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
進展型小細胞肺癌に対する新たな治療開発を目指した研究	吉岡 弘鎮	呼吸器腫瘍内科学講座	650,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
微小な胸膜播種を有する臨床病期IVA期非小細胞肺癌に対する原発巣切除追加の治療的意義を検証するランダム化比較第III相試験	吉岡 弘鎮	呼吸器腫瘍内科学講座	3,900,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
高齢者切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法のランダム化比較第III相試験	吉岡 弘鎮	呼吸器腫瘍内科学講座	650,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
患者由来がん幹細胞培養を基盤とした革新的個別化医療開発	朴 将源	がんセンター	1,199,900	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
医療側と企業側双方を対象とした双方向的開発人材育成拠点の整備	島崎 淳也	救急医学講座	507,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
JCOG2111A根治的治療可能な非小細胞肺癌を対象としたMinimal Residual Diseaseの検出と予後を評価する前向き観察研究	倉田 宝保	呼吸器腫瘍内科学講座	650,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
持続的安定供給可能な水産資源を活用した医食連携によるフレイル対策及び栄養介入法の確立と、有用成分を含有する次世代機能性水産資源のリスト化を通じた国内水産業活性化への寄与	菅 俊光	リハビリテーション医学	910,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
妊娠中の自動車運転状況ならびにその際のヘルメット着用状況の調査研究	森川 守	産科学・婦人科学講座	970,000	補委	一般社団法人日本損害保険協会
膵頭十二指腸切除術を受けた患者における術前腸内細菌叢が術後合併症に与える影響についての網羅的解析	宮崎 秀高	外科学講座	200,000	補委	一般社団法人日本腹部救急医学会
大腸直腸癌の腫瘍微小環境における浸潤突起の意義と新規治療への展開	小林 壽範	外科学講座	1,000,000	補委	公益財団法人大阪コミュニティ財団
乳児期有熱性尿路感染症の発症リスクとしての腸内細菌叢の乱れ	山内 壮作	小児科学講座	300,000	補委	公益財団法人大阪腎臓バンク
食道癌オルガノイドを用いた免疫治療の効果予測と免疫応答の解明	張野 誉史	外科学講座	300,000	補委	公益財団法人大阪対がん協会
胆肝膵がんに対する高侵襲手術におけるせん妄の病態探求および新規治療法の確立	船槻 紀也	精神神経科学講座	300,000	補委	公益財団法人大阪対がん協会
眼瞼脂腺癌における腫瘍境界の新規評価法 低侵襲かつ正確な外科的切除を目指して	松岡 祐貴	形成外科学講座	300,000	補委	公益財団法人大阪対がん協会
微小変異型ネフローゼ症候群モデルラットに対する球形吸着炭を使用した腸管内尿毒素物質除去による抗タンパク尿効果を期待した新規治療法の開発	辻 章志	小児科学講座	3,000,000	補委	公益財団法人川野小児医学奨学財団
クランベリーが過活動膀胱を有する小児の尿中細菌叢に及ぼす影響の検討	赤川 友布子	小児科学講座	500,000	補委	公益財団法人川野小児医学奨学財団
妊娠成立に向けたヒト卵巣機能に及ぼす喫煙の影響	岡田 英孝	産科学・婦人科学講座	2,000,000	補委	公益財団法人喫煙科学研究財団
加熱式たばこにおける脳内ネットワークへの影響とrTMS治療の可能性の検証	池田 俊一郎	精神神経科学講座	500,000	補委	公益財団法人喫煙科学研究財団
健常人のアルツハイマー病発症リスクに対する脳小血管病負傷と喫煙の相乗効果の検証：the Kashima scan study	薬師寺 祐介	神経内科学講座	1,500,000	補委	公益財団法人喫煙科学研究財団
AIによるCT画像を用いた転移性脊髄腫瘍の自動リスク分類システムの開発	小池 優平	放射線科学講座	500,000	補委	公益財団法人中部科学技術センター
胃消化管間質腫瘍に対する留置スネアを用いた内視鏡的全層切除術の安全性と有用性の検討	山階 武	内科学第三講座	500,000	補委	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団
小児鶏卵アレルギー患者における腸内細菌叢解析を用いた耐性獲得予測	赤川 翔平	小児科学講座	2,000,000	補委	公益財団法人ニッポンハム食の未来財団
口腔扁平上皮腫瘍性病変の表層分化機序の解明と検出キットの開発	野田 百合	病理学講座	500,000	補委	公益財団法人日本対がん協会
二分脊椎の責任遺伝子の同定	小森裕美子	脳神経外科学講座	700,000	補委	公益財団法人日本二分脊椎・水頭症研究振興財団
腹部超音波検査を用いた食物経口負荷試験におけるアレルギー症状出現の予測	中井 陽子	小児科学講座	500,000	補委	公益財団法人森永奉仕会
PLA法を用いた筋萎縮性側索硬化症におけるTDP-43・TMEM106Bのオリゴマーの分布と臨床病理相関の解明	村上 綾	脳神経内科学講座	1,000,000	補委	公益信託宮田幸比古記念ALS研究助成基金
アストロサイト振動から紐解く休眠のメカニズム	松田 烈士	神経機能部門	500,000	補委	公益財団法人沖中記念成人病研究所

計165件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Ikoma T, Matsumoto T, Boku S, et al.	がんセンター	Safety of immune checkpoint inhibitors in patients aged over 80 years: a retrospective cohort study	Cancer immunology, immunotherapy : CII 73(7)126-2024/05	Original Article
2	Kanai M.	がんセンター	Challenges and Opportunities for the Clinical Application of the Combination of Immune-Checkpoint Inhibitors and Radiation Therapy in the Treatment of Advanced Pancreatic Cancer	Cancers 17(4)606-2025/02	Review
3	Kobayashi T, Ishida M, Matsui H, et al.	下部消化管外科	Relationship of Desmoplastic Reaction and Tumour Budding in Primary and Lung Metastatic Lesions of Colorectal Cancer and Their Prognostic Significance	Cancers 17(4)583-2025/02	Original Article
4	Kobayashi T, Miki H, Hiroki U, et al.	下部消化管外科	Antitraction sutures and indocyanine green fluorescence imaging to prevent anastomotic leakage in left-sided colorectal surgery-A video vignette	Colorectal disease 27(1)e17293-2025/01	Others
5	Kobayashi T, Miyazaki H, Yagyu T, et al.	下部消化管外科	Single-incision laparoscopic surgery for benign peritoneal cystic mesothelioma-A Video Vignette	Colorectal disease 26(7)1482-1483 2024/07	Case report
6	Yagyu T, Miki H, Kikawa Y, et al.	下部消化管外科	Appendiceal Metastasis of Breast Cancer: A Case Report and a Literature Review	Cureus 16(4)e57929-2024/04	Case report
7	Yagyu T, Hamada M, Hatta M, et al.	下部消化管外科	Impact of the Diverting Stoma on Renal Function	Diseases of the colon and rectum 67(12)1576-1583 2024/12	Original Article
8	Hamada M, Matsumi Y, Inada R, et al.	下部消化管外科	MRI navigation surgery for T4b rectal cancer using multiple minimally invasive surgical approaches	International journal of colorectal disease 40(1)66-2025/03	Original Article
9	Nakamura Y, Watanabe J, Akazawa N, et al.	下部消化管外科	ctDNA-based molecular residual disease and survival in resectable colorectal cancer	Nature medicine 30(11)3272-3283 2024/11	Original Article
10	Kobayashi T, Ishida M, Miki H, et al.	下部消化管外科	Prognostic scoring system based on indicators reflecting the tumor glandular differentiation and microenvironment for patients with colorectal cancer	Scientific reports 14(1)14188-2024/06	Original Article
11	Miki H, Toshinori K, Masahiko H, et al.	下部消化管外科	Practical use of transanal decompression tube following the repair of fourth-degree perineal tears associated with vaginal delivery	Surgical case reports 10(1)167-2024/07	Original Article

12	Hamada M, Kurokawa H, Kobayashi T, et al.	下部消化管外科	MRI navigation surgery, including lateral pelvic lymph node dissection following chemoradiotherapy, improves local control and functional preservation of the middle to low rectal cancer	Surgical oncology 55()102093- 2024/08	Original Article
13	Sumiyama F, Hamada M, Kobayashi T, et al.	下部消化管外科	Why did we encounter a pCRM-positive specimen whose preoperative MRI indicates negative mesorectal fascia involvement in middle to low rectal cancer?	Techniques in coloproctology 29(1)81- 2025/03	Original Article
14	Lai TT, Ishida M, Kosaka H, et al.	肝臓外科	The Prognostic Impact of Adipophilin Expression on Long-Term Survival Following Liver Resection in Patients with Colorectal Liver Metastases	Cancers 16(22)3827- 2024/11	Original Article
15	Kaibori M, Yoshii K, Lai TT, et al.	肝臓外科	Prospective Survey of Postoperative Pain in Japan: A Multicenter, Observational Study	Journal of clinical medicine 14(4)1130- 2025/02	Original Article
16	Kosaka H, Matsui K, Ikeura T, et al.	肝臓外科	Prognostic impact of combination therapy with gemcitabine and cisplatin plus S-1 and subsequent conversion surgery for initially unresectable upper biliary tract cancers	Surgery today 55(3)351-359 2025/03	Original Article
17	Yamamoto H, Isono K, Honda M, et al.	肝臓外科	Impact of Altered Graft Position During Living Donor Liver Transplantation and its Outcomes	Transplantation proceedings 57(2)284-291 2025/03	Original Article
18	Toyokawa N, Araki-Sasaki K, Kimura H, et al.	眼科	Evaluating anterior corneal surface using Placido ring mires for irregular astigmatism in refractory corneal subepithelial infiltrates after adenoviral conjunctivitis.	BMC ophthalmology 24(1)515- 2024/11	Original Article
19	Hattori Y, Yamada H, Mori H, et al.	眼科	The effect of fibroblast growth factor 2 on neovascular vessels depends on the stage of angiogenesis	Heliyon 10(21)e39843- 2024/10	Original Article
20	Yokota K, Yamada H, Mori H, et al.	眼科	Platelet-Derived Growth Factor Subunit A Strengthens the Neurovascular Unit and Inhibits Retinal Vascular Regression Under Hyperoxic Conditions	International journal of molecular sciences 25(23)12945- 2024/12	Original Article
21	Mori H, Kiriishi T, Omi M, et al.	眼科	One-Year Outcomes of Trabeculotomy with 120°, 180°, or 360° Schlemm's Canal Incision for Primary Open-Angle Glaucoma: A Retrospective Study	Journal of clinical medicine 13(24)7653- 2024/12	Original Article
22	Okuno N, Maruyama S, Wada D, et al.	救急医学科	Retroperitoneal hemorrhage due to ruptured artery induced by median arcuate ligament syndrome in patients with COVID-19: A case series	Acute medicine & surgery 11(1)e70015- 2024/11	Original Article

23	Oishi T, Tamagaki K, Maruyama S, et al.	救急医学科	A case of right atrial thrombus in the Chiari network after blunt cardiac rupture	Acute medicine & surgery 11(1)e70007-2024/09	Case report
24	Maruyama S, Nakamori Y, Kanayama S, et al.	救急医学科	Development of a system to support information sharing for medical staff in the hybrid emergency room	Acute medicine & surgery 11(1)e70006-2024/09	Original Article
25	Maruyama S, Wada D, Kanayama S, et al.	救急医学科	The evaluation of risk factors for prolonged viral shedding during anti-SARS-CoV-2 monoclonal antibodies and long-term administration of antivirals in COVID-19 patients with B-cell lymphoma treated by anti-CD20 antibody	BMC infectious diseases 24(1)715-2024/07	Original Article
26	Igeta R, Otaka S, Imaizumi T, et al.	救急医学科	Regional Comparison in Cerebral Performance Outcome of Out-of-Hospital Cardiac Arrest: The All-Japan Utstein Registry	Cureus 16(10)e72622-2024/10	Original Article
27	Nishioka N, Yamada T, Nakao S, et al.	救急医学科	External Validation of Updated Prediction Models for Neurological Outcomes at 90 Days in Patients With Out-of-Hospital Cardiac Arrest	Journal of the American Heart Association 13(9)e033824-2024/05	Original Article
28	Ho AFW, Kai Yi L, Shahidah N, et al.	救急医学科	Association between Conversion to Shockable Rhythms and Survival with Favorable Neurological Outcomes for Out-of-Hospital Cardiac Arrests	Prehospital emergency care 28(1)126-134 2024年	Original Article
29	Kajino K, Daya MR, Onoe A, et al.	救急医学科	Development and validation of a prehospital termination of resuscitation (TOR) rule for Out-Of Hospital Cardiac Arrest (OHCA) Cases using general purpose artificial intelligence (AI)	Resuscitation 197()110165-2024/04	Original Article
30	Nishimura T, Hatakeyama T, Yoshida H, et al.	救急医学科	Non-linear association between the time required to reaching temperature targets and the neurological outcome in patients undergoing targeted temperature management after out-of-hospital cardiac arrest: Observational multicentre cohort study	Resuscitation plus 18()100607-2024/04	Original Article
31	Bin Kunji Mohamad MI, Jamaluddin SF, Ahmad N, et al.	救急医学科	Trauma outcomes differences in females: a prospective analysis of 76 000 trauma patients in the Asia-Pacific region and the contributing factors	Scandinavian journal of trauma, resuscitation and emergency medicine 33(1)34-2025/02	Original Article
32	Nagata I, Mitsui T, Matsuoka Y, et al.	形成外科	Spindle Cell Lipoma in the Lower Lip: A Report of a Rare Case in Plastic Surgery	Cureus 17(1)e77956-2025/01	Case report
33	Fujita M, Mitsui T, Kunieda S, et al.	形成外科	Iatrogenic Parasitic Leiomyoma in the Lower Right Abdomen: A Rare Case in Plastic Surgery	Cureus 16(8)e65924-2024/08	Case report

34	Kunieda S, Suzuki K, Tamamine S, et al.	形成外科	Leukoplakia of the Lower Lip Reconstructed With a Tongue Flap	Eplasty 24()QA14- 2024/04	Case report
35	Kakudo N, Matsuoka Y, Kushida S, et al.	形成外科	A novel assistant-free technique for ptosis surgery: Combining small fish hook retractors and frilled drapes	JPRAS open 44()45-48 2025/02	Original Article
36	Hihara M, Himejima T, Takeji K, et al.	形成外科	A novel intervention for wound bed preparation in severe extremity trauma: Highly concentrated carbon dioxide bathing	JPRAS open 41()88-97 2024/05	Original Article
37	Maru N, Hino H, Utsumi T, et al.	呼吸器外科	The Interval of Computed Tomography Follow-Ups after Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer Surgery Did Not Show Any Relationship with Survival	Annals of thoracic and cardiovascular surgery 30(1)e2400093- 2024	Original Article
38	Kaneda H, Nakano T, Utsumi T, et al.	呼吸器外科	Feasibility and safety of uniport robotic-assisted thoroscopic surgery in initial series of anatomical pulmonary resections under learning curve	General thoracic and cardiovascular surgery 73(1)52-57 2025/01	Original Article
39	Utsumi T, Hino H, Maru N, et al.	呼吸器外科	Re-appraisal of bronchus-first right upper lobectomy as an alternative routine procedure	Interdisciplinary cardiovascular and thoracic surgery 38(6)ivae114- 2024/06	Original Article
40	Hiroyuki Kaneda, Takahito Nakano, Takahiro Utsumi, et al.	呼吸器外科	Decisional conflict scale for elective thoracic surgery	Shanghai Chest 8(8)1-9 2024/04	Original Article
41	Utsumi T, Hino H, Takeyasu Y, et al.	呼吸器外科	Salvage Lung Resection of Aspergilloma Mimicking Tumor Regrowth after Immune Checkpoint Inhibitor Therapy for Stage IV Squamous Cell Lung Cancer: A Case Report	Surgical case reports 11(1)24-0096- 2025/03	Case report
42	Hino H, Yasuhara Y, Nakahata K, et al.	呼吸器外科	Emergency right lower lobectomy for severe pulmonary abscess in a pregnant woman at the 25th week of gestation: a case report	Surgical case reports 10(1)129- 2024/05	Case report
43	Yamanaka Y, Okuno Y, Kamisako K, et al.	呼吸器腫瘍内科	Efficacy and Safety Evaluation of Immune Checkpoint Inhibitors in Combination With Chemotherapy for Extensive Small Cell Lung Cancer: Real-World Evidence	Cancer medicine 13(24)e70480- 2024/12	Original Article
44	Yamanaka Y, Ota T, Masuoka Y, et al.	呼吸器腫瘍内科	Feasibility Study of Nivolumab in Combination with Carboplatin Plus Paclitaxel and Concurrent Thoracic Radiation in Patients with Untreated Unresectable Locally Advanced Non-Small Cell Lung Cancer	Cancers 16(18)3127- 2024/09	Original Article

45	Yoshioka H, Ishida T, Atagi S, et al.	呼吸器腫瘍内科	Randomized Phase II Trial of Amrubicin Plus Irinotecan Versus Cisplatin Plus Irinotecan in Chemo-naïve Patients With Extensive-Disease Small-Cell Lung Cancer: Results of the Japan Multinational Trial Organization (JMT0) LC 08-01	Clinical lung cancer 26(1)1-8 2025/01	Original Article
46	Katsushima U, Fukushima T, Nakano J, et, al.	呼吸器腫瘍内科	Comparative Study on Associations Between Lung Cancer Prognosis and Diagnostic Criteria Set by the European Palliative Care Research Collaboration and the Asian Working Group for Cachexia	Thoracic cancer 16(2)e15503- 2025/01	Original Article
47	Yokoe T, Oku K, Noda Y, et, al.	産婦人科	Treatment for SMARCA4-deficient carcinoma of uterine cervix	BMJ case reports 18(1)e258711- 2025/01	Original Article
48	Takuya Yokoe, Masato Kita, Hidetaka Okada	産婦人科	An Emulsification Suction Irrigator for High-Viscosity Fluids.	JLS : Journal of the Society of Laparoendoscopic Surgeons 29(2)e2025.00010- 2025	Original Article
49	Yokoe T, Kita M, Okada H.	産婦人科	Monogram and Heat Map on Magnetic Resonance Imaging to Evaluate the Recommendation for Myomectomy in Patients with Infertility: A Pilot Study	Reproductive sciences 32(1)91-102 2025/01	Original Article
50	Morikawa M, Takeda Y, Matsunaga S, et, al.	産婦人科	Effectiveness, reliability, and validity of new Japanese diagnostic criteria for obstetrical disseminated intravascular coagulation.	Scientific reports 14(1)17677- 2024/07	Original Article
51	Morikawa M, Matsunaga S, Makino S, et, al.	産婦人科	Fresh frozen plasma, fibrinogen concentrate, and antithrombin concentrate administration for obstetrical disseminated intravascular coagulation by the Japanese previous and new criteria	The journal of obstetrics and gynaecology research 51(2)e16220- 2025/02	Original Article
52	Asako A, Hidaka H, Kouda K, et, al.	耳鼻科	Preliminary investigation of endoscopic surgery for tympanic membrane perforation: Regenerative treatment compared with conventional surgery	American journal of otolaryngology 45(5)104408- 2024/09	Original Article
53	Kobayashi Y, Hanh CH, Yagi N, et, al.	耳鼻科	CCL4 Affects Eosinophil Survival via the Shedding of the MUC1 N-Terminal Domain in Airway Inflammation	Cells 14(1)33- 2024/12	Original Article
54	Yagi M, Sakagami T, Shimizu M, et, al.	耳鼻科	Application of the ORBEYE Three-Dimensional Exoscope for Parotidectomies	Journal of clinical medicine 14(1)47- 2024/12	Original Article
55	Sakagami T, Noda Y, Nakamura N, et, al.	耳鼻科	Efficacy of Minor Salivary Glands as Indicators of Depth of Resection for Superficial Hypopharyngeal Carcinoma	OTO open 8(3)e182- 2024/08	Original Article

56	Takaya J, Tanabe Y, Nomura N, et, al.	小児科	Platelet and white blood cell counts correlate with leptin and body mass index in Japanese adolescents	Clinical Pediatric Endocrinology 33(4)207-213 2024/08	Original Article
57	Akagawa S, Tsuji S, Urakami C, et, al.	小児科	Dysbiosis of Urinary Microbiome (Urobiome) in Male Children With Nocturnal Enuresis	JU Open Plus 2(8)e00074- 2024/08	Original Article
58	Kaneko K.	小児科	Gut dysbiosis as a susceptibility factor in childhood idiopathic nephrotic syndrome	Pediatrics and neonatology 66(Suppl 1)S2-S7 2025/02	Review
59	Satake R, Yamakawa H, Aoki N, et, al.	小児外科	A biologically transparent illumination device is more useful in children for detecting the position of the nasogastric tube in the stomach	Pediatric surgery international 40(1)275- 202410	Original Article
60	Hori S, Yamasaki M, Yamamoto N, et, al.	上部消化管外科	The impact of time to postoperative recurrence on the prognosis of patients with esophageal cancer post recurrence: exploratory analysis of OGSJ 1003	Esophagus 21(4)472-483 2024/10	Original Article
61	Kotsuka M, Okuyama T, Hashimoto Y, et, al.	上部消化管外科	Olprinone, a Selective Phosphodiesterase III Inhibitor, Has Protective Effects in a Septic Rat Model after Partial Hepatectomy and Primary Rat Hepatocyte	International journal of molecular sciences 25(13)7189- 2024/06	Original Article
62	Takashi Harino, Koji Tanaka, Daisuke Motooka, et, al.	上部消化管外科	D-loop mutations in mitochondrial DNA are a risk factor for chemotherapy resistance in esophageal cancer.	Scientific reports 14(1)31653- 2024/12	Original Article
63	Okada Takayuki, Sato Chika, Haruyama Sayoko, et, al.	心臓血管外科	Genetic Aortic Disease: Unraveling the Genetic Landscape of Marfan and Related Syndromes	IntechOpen DOI:10.5772/intechopen.1006141() 2024/08	Original Article
64	Yamamoto S, Kataoka Y, Kurai H, et, al.	心療内科	Prognosis of Postoperative Cholangitis Following Pancreaticoduodenectomy: A Single-Centered Retrospective Cohort Study	Cureus 16(5)e60392- 2024/05	Original Article
65	Hasuo H, Ishiki H, Matsuda Y, et, al.	心療内科	Trigger Point Injections for Myofascial Pain in Terminal	Pain medicine 26(1)14-21 2025/01	Original Article
66	Murakami A, Koga S, Fujioka S, et, al.	神経内科	Upper motor neuron-predominant motor neuron disease presenting as atypical parkinsonism: A clinicopathological study	Brain pathology 35(1)e13286- 2025/01	Original Article
67	Miyake K, Ikeda S, Sadachi Y, et, al.	神経内科	Evolution of antiplatelet therapy in Japan for the management of cerebrovascular and cardiovascular disease: a survey using data from an insurance claims data information service	Expert opinion on pharmacotherapy 25(13)1851-1860 2024/09	Original Article

68	Ikeda S, Yakushiji Y, Tanaka J, et, al.	神経内科	Cerebral small vessel disease markers and long-term prognosis in spontaneous intracerebral hemorrhage: the HAGAKURE-ICH study	Hypertension research 48(1)233-243 2025/01	Original Article
69	Ono S, Nakamura M, Morikawa M, et, al.	神経内科	Immunotherapy-responsive parkinsonism and anosmia in anti-NMDA receptor encephalitis with seropositive NMOSD: A case report	Journal of the neurological sciences 472(1)123447- 2025/03	Others
70	Nakamura M, Tsuge A, Miyake K, et, al.	神経内科	Neuropathologic findings in a patient with hemiparkinsonism and hemiatrophy syndrome	Neuropathology 44(6)432-439 2024/12	Case report
71	Taguchi M, Yasuda K, Kinoshita H.	腎泌尿器外科	The optimal stent pusher position to achieve successful ureteral stent insertion under fluoroscopic guidance	Asian journal of urology 11(2)311-315 202404	Original Article
72	Kiyota S, Yoshida T, Nakamoto T, et, al.	腎泌尿器外科	Efficacy of immune checkpoint inhibitor combination therapy prior to nephrectomy in advanced renal cell carcinoma: A retrospective pilot study	BJUI compass 5(10)957-960 2024/08	Original Article
73	Ikeda J, Taniguchi H, Takayama H, et, al.	腎泌尿器外科	A case of mixed neuroendocrine carcinoma-acinar adenocarcinoma: Utilization of triplet therapy for prostate cancer	IJU Case Reports 7(6)459-462 202405	Case report
74	Ohnogi H, Ikeda J, Takayasu K, et, al.	腎泌尿器外科	Trifecta outcomes of robotic partial nephrectomy in obese patients: A comparison of body mass index <25, 25 to <30, and ≥ 30	International journal of urology 31(10)1108-1113	Original Article
75	Yoshida T, Nakamoto T, Atsumi N, et, al.	腎泌尿器外科	Impact of LAG-3/FGL1 pathway on immune evasive contexture and clinical outcomes in advanced urothelial carcinoma	JOURNAL FOR IMMUNOTHERAPY OF CANCER 12(7)e009358- 2024/07	Original Article
76	Ikeda J, Ohe C, Yoshida T, et, al.	腎泌尿器外科	Prognostic impact of lymph node invasion levels in patients with bladder cancer undergoing radical cystectomy and pelvic lymphadenectomy	Oncology letters 28(5)517- 2024/11	Original Article
77	Taniguchi T	腎泌尿器外科	Semen and sperm quality in male infertility treatment	Reproductive Medicine and Biology ()- 2024/11	Review
78	Taniguchi H, Takizawa N, Kinoshita H.	腎泌尿器外科	Prevalence and risk factors for overactive bladder symptoms in patients with artificial urinary sphincter	Scientific reports 14(1)20332- 2024/09	Original Article
79	Takayasu K, Yoshida K, Matsuzaki T, et, al.	腎泌尿器外科	Development and evaluation of vesicourethral anastomosis bench-top model for measurement of traction force on urethra in robotic surgery	Surgical endoscopy 38(9)5220-5227 2024/09	Original Article

80	Sano T, Yoshida T, Nakamoto T, et, al.	腎泌尿器外科	Diagnostic performance of photodynamic diagnosis with oral 5-aminolevulinic acid for upper tract- and bladder urothelial carcinoma: a single-centre, retrospective analysis	World journal of urology 42(1)389-2024/07	Original Article
81	Takekita Y, Suwa T, Yasuda K, et, al.	精神神経科	Approaches for difficult-to-induce-seizures electroconvulsive therapy cases (DEC): a Japanese expert consensus	Annals of general psychiatry 24(1)2-2025/01	Original Article
82	Takekita Y, Hiraoka S, Iwama Y, et, al.	精神神経科	Predictors of continuation for asenapine from real-world data in patients with schizophrenia	Annals of general psychiatry 23(1)23-29 2024/08	Original Article
83	Tsukuda B, Ikeda S, Minami S, et, al.	精神神経科	Targeting Method for rTMS for Treating Depression in Japanese Patients: A Comparison of the Standard, F3, and Neuronavigation Approaches	Neuropsychobiology 83(3-4)170-178 2024/10	Original Article
84	Takekita Y, Matsumoto Y, Masuda T, et, al.	精神神経科	Association between treatment response and dose of blonanserin transdermal patch in patients with acute schizophrenia: A post hoc cluster analysis based on baseline psychiatric symptoms	Neuropsychopharmacology Reports 44(4)784-791 2024/12	Original Article
85	Nagaharu K, Ohya E, Edahiro Y, et, al.	内科学第一講座	Predictive significance of high neutrophil ratio for thrombosis in myeloproliferative neoplasms: JSH-MPN-R18 subanalysis	Annals of hematology 103(9)3535-3541 2024/09	Original Article
86	Teramoto M, Tamaki H, Kaida K, et, al.	内科学第一講座	Pretransplantation predictors of survival in nonremission acute myeloid leukemia treated with haploidentical transplantation using steroid-based GVHD prophylaxis	Annals of hematology 103(4)1363-1372 2024/04	Original Article
87	Nakamura N, Arima N, Takakuwa T, et, al.	内科学第一講座	Efficacy of elotuzumab for multiple myeloma deteriorates after daratumumab: a multicenter retrospective study	Annals of hematology 103(12)5681-5690 2024/12	Original Article
88	Shimazu Y, Kanda J, Takakuwa T, et, al.	内科学第一講座	The impact of renal function on initial therapy in transplant-ineligible multiple myeloma patients	Annals of hematology 103(12)5639-5649 2024/12	Original Article
89	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M, et, al.	内科学第一講座	Efficacy of ensitrelvir for cough due to COVID-19 Omicron variant in medical healthcare workers	Antimicrobial agents and chemotherapy 68(10)e0106424-2024/10	Others

90	Fujii T, Murata K, Kohjitani H, et, al.	内科学第一講座	Predicting rheumatoid arthritis progression from seronegative undifferentiated arthritis using machine learning: a deep learning model trained on the KURAMA cohort and externally validated with the ANSWER cohort	Arthritis research & therapy 27(1)65-2025/03	Original Article
91	Onishi A, Tanaka M, Fujii T, et, al.	内科学第一講座	Comparative effectiveness of subcutaneous sarilumab 200 mg biweekly, subcutaneous Tocilizumab 162 mg biweekly, and intravenous Tocilizumab 8 mg/kg every 4 weeks in patients with rheumatoid arthritis: a prospective cohort study	Arthritis research & therapy 27(1)52-2025/03	Original Article
92	Shimomura Y, Kitamura T, Sugita, et, al.	内科学第一講座	Impact of donor type on the outcomes of acute graft versus host disease to systemic corticosteroid therapy	Bone marrow transplantation 59(12)1763-1772 2024/12	Original Article
93	Kondo T, Matsuki E, Takaku T, et, al.	内科学第一講座	Outcomes of pregnancy in patients with chronic myeloid leukemia in the era of tyrosine kinase inhibitors	Cancer 131(1)e35611-2025/01	Original Article
94	Shimazu Y, Kanda J, Onda Y, et, al.	内科学第一講座	The lymphocyte/monocyte ratio predicts the efficacy of isatuximab plus pomalidomide in multiple myeloma patients	Cancer immunology, immunotherapy : CII 73(7)135-2024/05	Original Article
95	Nomura S, Taniura T, Ichikawa J, et, al.	内科学第一講座	Risk of Atherosclerosis Due to HMGB1-dependent Platelet-derived Microparticles in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus	Clinical and applied thrombosis/hemostasis 73(7)135-2024/05	Original Article
96	Nakayama Y, Onishi A, Yamamoto W, et, al.	内科学第一講座	Safety of Janus kinase inhibitors compared to biological DMARDs in patients with rheumatoid arthritis and renal impairment: the ANSWER cohort study	Clinical and experimental medicine 24(1)97-2024/05	Original Article
97	Yoshihisa Ishiura, Shosaku Nomura, Takeshi Tamaki, et, al.	内科学第一講座	Current Status and Progress in Chronic Cough.	Cough Investigation. 1(1)11-15 2024/04	Review
98	Nasa Y, Satake A, Tsuji R, et, al.	内科学第一講座	Concomitant use of interleukin-2 and tacrolimus suppresses follicular helper T cell proportion and exerts therapeutic effect against lupus nephritis in systemic lupus erythematosus-like chronic graft versus host disease	Frontiers in immunology 15()1326066-2024/04	Original Article
99	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M, et, al.	内科学第一講座	Functional decline at 1 year in hospitalized elderly pneumonia with SARS-CoV-2 Omicron variant: Comparison with the ancestral strain and Alpha variant	Influenza and other respiratory viruses 18(2)e13251-2024/04	Original Article

100	Toyosaki M, Machida S, Tomizawa D, et, al.	内科学第一講座	Temporal changes in corticosteroid dose during ibrutinib treatment in patients with cGVHD and pulmonary involvement	International journal of hematology 121(3)388-396 2025/03	Original Article
101	Shiratori S, Fukushima K, Onishi Y, et, al.	内科学第一講座	Ruxolitinib for steroid-refractory chronic graft-versus-host disease: Japanese subgroup analysis of REACH3 study	International journal of hematology 120(6)705-716 2024/12	Original Article
102	Sugimoto Y, Nagaharu K, Ohya E, et, al.	内科学第一講座	Clinical characteristics in adolescents and young adults with polycythemia vera and essential thrombocythemia in Japan	International journal of hematology 120(6)684-693 2024/12	Original Article
103	Ito T, Kamimura T, Kiguchi T, Kato K, et, al.	内科学第一講座	Venetoclax treatment for chronic lymphocytic leukemia/small lymphocytic leukemia in Japan: post-marketing surveillance	International journal of hematology 120(5)613-620 2024/11	Original Article
104	Teshima T, Onishi Y, Kato K, et, al.	内科学第一講座	Ruxolitinib in steroid-refractory acute graft-vs-host disease: Japanese subgroup analysis of the randomized REACH2 trial	International journal of hematology 120(1)106-116 2024/07	Original Article
105	Usuki K, Kameda T, Kawano N, et, al.	内科学第一講座	Prevalence of chromosome 8p11.2 translocations and correlation with myeloid and lymphoid neoplasms associated with FGFR1 abnormalities in a consecutive cohort from nine institutions in Japan	International journal of hematology 119(6)722-727 2024/06	Original Article
106	Huynh TN, Yamazaki F, Konrad RJ, et, al.	内科学第一講座	Circulating CD31 and resistin levels reflect different stages of coronary atherosclerosis in patients with psoriasis	The Journal of dermatology 52(1)67-78 2025/01	Original Article
107	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M, et, al.	内科学第一講座	Clinical manifestations of COVID-19 Omicron variants in medical healthcare workers: focusing on the cough	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy 31(4)102659- 2025/02	Original Article
108	Miyashita N, Higa F, Aoki Y, et, al.	内科学第一講座	Evaluation of Legionella Diagnostic Prediction Score in patients with SARS-CoV-2 Omicron pneumonia	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy 31(3)102566- 2025/03	Original Article
109	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M, et, al.	内科学第一講座	Comparison of pneumonia severity scores for COVID-19 patients with the Omicron variant	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy 30(5)463-466 2024/05	Original Article

110	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M, et, al.	内科学第一講座	Aspiration pneumonia after SARS- CoV-2 Omicron infection frequently induced physical functional decline in Japan	Journal of medical microbiology 73(8)001872- 2024/08	Original Article
111	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M, et, al.	内科学第一講座	Aspiration pneumonia was the most frequent cause of death in older patients with SARS-CoV-2 omicron-related pneumonia in Japan	Journal of the American Geriatrics Society 72(7)2234-2236 2024/07	Others
112	Yoshihisa Ishiura, Masaki Fujimura, Haruhiko Ogawa, et, al.	内科学第一講座	Prevalence and causes of subacute cough in Japan	Respir Investig 63(1)74-80 2025/01	Original Article
113	Yoshihisa Ishiura, Masaki Fujimura, Haruhiko Ogawa, et, al.	内科学第一講座	Prevalence and causes of chronic cough in Japan. Respir Investig. 2024 Mar 22;62(3):442-448.	Respir Investig 62(3)442-448 2024/04	Original Article
114	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M, et, al.	内科学第一講座	Characteristics of the 11th wave by SARS-CoV-2 KP.3 subvariant: Re-increase in pneumonia severity	Respiratory investigation 63(3)401-404 2025/03	Original Article
115	Ishiura Y, Fujimura M, Ogawa H, et, al.	内科学第一講座	Prevalence and causes of chronic cough in Japan	Respiratory investigation 62(3)442-448 2024/05	Original Article
116	Miyashita N, Nakamori Y, Ogata M, et, al.	内科学第一講座	Invalidity of JRS atypical pneumonia prediction score in Omicron variant of COVID-19 pneumonia	Respiratory investigation 62(3)384-387 2024/05	Original Article
117	Miyashita N.	内科学第一講座	Legionella prediction score	Respiratory investigation 62(2)305-306 2024/04	Others
118	Jinno S, Onishi A, Hattori S, et, al.	内科学第一講座	Comparison of retention of biologics in Japanese patients with elderly-onset rheumatoid arthritis-the ANSWER cohort study	Rheumatology 64(2)509-516 2024/09	Original Article
119	Watanabe R, Ebina K, Gon T, et, al.	内科学第一講座	Predictive factors and treatment outcomes associated with difficult-to-treat rheumatoid arthritis conditions: the ANSWER cohort study	Rheumatology 63(9)2418-2426 2024/09	Original Article
120	Yamada H, Jinno S, Maeda T, et, al.	内科学第一講座	Trends of disease activity in Japanese patients over 75 years with rheumatoid arthritis from 2014 to 2021- the ANSWER cohort study	Rheumatology 63(8)2147-2151 2024/08	Original Article

121	Onishi A, Yamada H, Yamamoto W, et, al.	内科学第一講座	Comparative effectiveness of biological disease-modifying antirheumatic drugs and Janus kinase inhibitor monotherapy in rheumatoid arthritis	Rheumatology 63(11)3065-3073 2024/11	Original Article
122	Hayashi S, Tachibana S, Maeda T, et, al.	内科学第一講座	Real-world comparative study of the efficacy of Janus kinase inhibitors in patients with rheumatoid arthritis: the ANSWER cohort study	Rheumatology 63(11)3033-3041 2024/11	Original Article
123	Ikegame K, Fukunaga K, Osugi Y, et, al.	内科学第一講座	Donor-derived cytomegalovirus-specific CD8+ T cells restricted to shared, donor-specific, or host-specific HLA after HLA mismatched hematopoietic stem cell transplantation	Transplant immunology 87()102099- 2024/12	Original Article
124	Hashimoto K, Fujii K, Ueda D, et, al.	内科学第二講座	Development and Validation of Artificial Intelligence-based Algorithms for Predicting the Segments Debulked by Rotational Atherectomy Using Intravascular Ultrasound Images	The American journal of cardiology 223()1-6 2024/06	Original Article
125	Huong QTT, Truc LTN, Ueda H, et, al.	内科学第二講座	Nerve Enlargement in Patients with INF2 Variants Causing Peripheral Neuropathy and Focal Segmental Glomerulosclerosis	Biomedicines 13(1)127- 2025/01	Original Article
126	Fujiwara K, Inoue T, Kimoto A, et, al.	内科学第二講座	Spatial organizations of heterochromatin underpin nuclear structural integrity of ventricular cardiomyocytes against mechanical stress	Cell reports 43(12)115048- 2024/12	Original Article
127	Taniguchi N, Miyasaka Y, Suwa, et, al.	内科学第二講座	Incremental value of diastolic wall strain in predicting heart failure events in patients with atrial fibrillation	Heart and vessels 39(9)785-794 2024/09	Original Article
128	Horitani K, Shiojima I.	内科学第二講座	Wnt signaling in cardiac development and heart diseases	In vitro cellular & developmental biology. Animal 60(5)482-488 2024/05	Review
129	Tran QTH, Kondo N, Ueda H, et, al.	内科学第二講座	Altered Endoplasmic Reticulum Integrity and Organelle Interactions in Living Cells Expressing INF2 Variants	International journal of molecular sciences 25(18)9783- 2024/09	Original Article
130	Iwashima Y, Fukushima H, Nakano N, et, al.	内科学第二講座	Predialysis central arterial waveform and blood pressure changes during hemodialysis	Scientific reports 14(1)25768- 2024/10	Original Article
131	Tokuhara M, Sano Y, Watanabe Y, et, al.	内科学第三講座	A method of "Noninjecting Resection using Bipolar Soft coagulation mode; NIRBS" for superficial non-ampullary duodenal epithelial tumor: a pilot study	BMC gastroenterology 24(1)343- 2024/10	Original Article

132	Naganuma M, Takeno M, Çelik AF, et, al.	内科学第三講座	Assessment of IL-6 Pathway Inhibition in Gastrointestinal Behçet's Disease from Immunological and Clinical Perspectives	Biomedicines 13(1)247- 2025/01	Review
133	Tahara T, Shijimaya T, Yamazaki J, et, al.	内科学第三講座	Fusobacterium Detected in Barrett's Esophagus and Esophageal Adenocarcinoma Tissues	Cancer investigation 42(6)469-477 2024/07	Original Article
134	Matsumoto H, Horitani S, Tokutomi Y, et, al.	内科学第三講座	Diffuse large B-cell lymphoma of the gallbladder with hepatoduodenal invasion exhibiting a necrotic tendency	Clinical Journal of Gastroenterology 17(6)1087-1092 2024/12	Case report
135	Nakamura N, Honzawa Y, Ohtsu T, et, al.	内科学第三講座	Efficacy of upadacitinib in the achievement of clinical and endoscopic remission in hospitalized patients with ulcerative colitis	Clinical Journal of Gastroenterology 17(4)654-657 2024/08	Original Article
136	Shijimaya T, Tahara T, Yamazaki J, et, al.	内科学第三講座	Distinct microbiome dysbiosis and epigenetic anomaly in esophageal adenocarcinoma and its underlying Barrett's esophagus	Clinical epigenetics 16(1)184- 2024/12	Original Article
137	Sano Y, Ito Y, Yagi N, et, al.	内科学第三講座	Clinical Outcomes for Patients With Ulcerative Colitis in Cases of Withdrawal and Resumption of Janus Kinase Inhibitors: Multicenter Cohort Study	Crohn's & colitis 360 7(2)otaf020- 2025/03	Original Article
138	Hirota M, Itoi T, Morizane T, et, al.	内科学第三講座	Post-procedure serum amylase or lipase levels predict post-endoscopic retrograde cholangiopancreatography pancreatitis: a meta-analysis of diagnostic test accuracy studies and utility assessment	Digestive endoscopy 36(6)670-687 2024/06	Review
139	Watanabe J, Ichimasa K, Kataoka Y, et, al.	内科学第三講座	Additional staining for lymphovascular invasion is associated with increased estimation of lymph node metastasis in patients with T1 colorectal cancer: A systematic review and meta-analysis	Digestive endoscopy 36(5)533-545 2024/05	Review
140	Isayama H, Hamada T, Fujisawa T, et, al.	内科学第三講座	TOKYO criteria 2024 for the assessment of clinical outcomes of endoscopic biliary drainage	Digestive endoscopy 36(11)1195-1210 2024/11	Review
141	Horitani S, Shimatani M, Kano M, et, al.	内科学第三講座	Endoscopic ultrasound-guided pancreatic duct drainage with a two-step puncture technique for a non-dilated pancreatic duct	Endoscopy 56(S 01)E274-E275 2024/12	Original Article

142	Horitani S, Yamashina T, Saito N, et, al.	内科学第三講座	Endoscopic submucosal dissection using a detachable snare for a large colorectal tumor with muscle retraction	Endoscopy 56(S 01)E106-E107 2024/12	Original Article
143	Morikawa T, Nemoto D, Kurokawa T, et, al.	内科学第三講座	Multicenter Prospective Randomized Controlled Clinical Trial Comparing the Pocket- Creation Method with and without Single Clip Traction of Colonic Endoscopic Submucosal Dissection	Endoscopy 56(8)583-593 2024/08	Original Article
144	Shijimaya T, Tahara T, Shimogama T, et, al.	内科学第三講座	Gastric microbiome composition accompanied with the Helicobacter pylori related DNA methylation anomaly	Epigenomics 16(21-22)1329-1336 2024/11	Original Article
145	Nakamura N, Sakagami T, Shimizu M, et, al.	内科学第三講座	Effectiveness and outcomes of endoscopic resection for superficial pharyngeal squamous cell carcinomas	Head & neck 47(2)463-471 2025/02	Original Article
146	Hitomi Y, Ueno K, Aiba Y, et, al.	内科学第三講座	A genome-wide association study identified PTPN2 as a population-specific susceptibility gene locus for primary biliary cholangitis	Hepatology 80(4)776-790 2024/10	Original Article
147	Tanaka A, Tsuji K, Komiyama Y, et, al.	内科学第三講座	RECAM-J 2023-Validation and development of the Japanese version of RECAM for the diagnosis of drug-induced liver injury	Hepatology research 54(6)503-512 2024/06	Original Article
148	Fukuda T, Aoki Y, Kiyohara H, et, al.	内科学第三講座	Efficacy of Dose Escalation of Oral 5-Aminosalicylic Acid for Ulcerative Colitis With a Mayo Endoscopic Subscore of 1: An Open Label Randomized Controlled Trial	Inflammatory bowel diseases 31(3)716-724 2025/03	Original Article
149	Yamada S, Honzawa Y, Yamamoto S, et, al.	内科学第三講座	Single Nucleotide Polymorphisms of the MEFV Gene E148Q Are Highly Associated With Disease Phenotype in Crohn's Disease	Inflammatory bowel diseases 30(6)970-980 2024/06	Original Article
150	Matsumoto H, Yamashina T, Shimatani M.	内科学第三講座	Early gastric cancer accompanying Gastritis cystica profunda with a Giant cyst	Internal medicine (Tokyo, Japan) 64(1)161-162 2025/01	Original Article
151	Fujikawa H, Saigusa S, Aono Y, et, al.	内科学第三講座	Small Bowel Obstruction Caused by Migration of Fractured Metal Stent in Patients with Malignant Gastric Outlet Obstruction: A Report of Two Cases and Review of the Literature	Internal medicine (Tokyo, Japan) 63(13)1873-1878 2024/07	Original Article

152	Hisamatsu T, Naganuma M, Pinton P, et, al.	内科学第三講座	Behçet's disease: incidence, prevalence, and real-world data on the use of biologic agents in Japan	Journal of gastroenterology 60(3)294-305 202503	Original Article
153	Okabe M, Yamamoto S, Shiokawa M, et, al.	内科学第三講座	Anti-integrin $\alpha v \beta 6$ antibody as a biomarker for diagnosing ulcerative colitis: a nationwide multicenter validation study	Journal of gastroenterology 60(1)86-95 202501	Original Article
154	Naganuma M.	内科学第三講座	Reply to "promising modality for severe ulcerative colitis: infliximab and plant-based diet as first-line (IPF) therapy"	Journal of gastroenterology 59(7)643-2024/07	Others
155	Makuuchi M, Kakuta Y, Umeno J, et, al.	内科学第三講座	Real-world NUDT15 genotyping and thiopurine treatment optimization in inflammatory bowel disease: a multicenter study.	Journal of gastroenterology 59(6)468-482 2024/06	Original Article
156	Naganuma M, Nakamura N, Kunisaki R, et, al.	内科学第三講座	Medical treatment selection and outcomes for hospitalized patients with severe ulcerative colitis as defined by the Japanese criteria	Journal of gastroenterology 59(4)302-314 2024/04	Original Article
157	Watanabe K, Hirai F, Kobayashi K, et, al.	内科学第三講座	Impact of twice-daily budesonide foam administration on early clinical response and endoscopic remission in patients with ulcerative colitis: a post hoc analysis	Journal of gastroenterology and hepatology 39(11)2367-2376 2024/11	Original Article
158	Tahara T, Horiguchi N, Yamada H, et, al.	内科学第三講座	Clinical, Pathological and Endoscopic Features of Neoplastic or Non-neoplastic Reddish Depressed Lesions after Helicobacter pylori Eradication	Journal of gastrointestinal and liver diseases : JGLD 33(2)164-169 2024/06	Original Article
159	Kubota K, Iwasaki E, Ishikawa T, et, al.	内科学第三講座	Diagnosis of isolated hilar-/extrahepatic-type IgG-4-related sclerosing cholangitis can be increased by improved recognition of this condition-A Japanese multicenter analysis	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences 31(9)647-657 2024/09	Original Article
160	Suzuki Y, Yoshida M, Fujisawa T, et, al.	内科学第三講座	Assessing outcomes and complications of secondary hepatolithiasis after choledochoenterostomy: A nationwide survey in Japan	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences 31(10)716-725 2024/10	Original Article
161	Yamashina T, Shimatani M, Matsumoto H, et, al.	内科学第三講座	Tumor Cell Implantation from an Oral Advanced Cancer at the Rectal Endoscopic Submucosal Dissection Site: A Case Report and Literature Review	Journal of the anus, rectum and colon 8(4)417-422 2024/10	Case report
162	Tanaka A, Abe M, Namisaki T, et, al.	内科学第三講座	A placebo-controlled Phase 2 trial of E6011, anti-human fractalkine monoclonal antibody, in primary biliary cholangitis	Journal of translational autoimmunity 10()100283-2025/03	Original Article

163	Promsorn P, Yamaguchi T, Kosaka H, et, al.	内科学第三講座	Efficacy of lenvatinib and transarterial chemoembolization combination therapy in patients with hepatocellular carcinoma administered an insufficient dose of early lenvatinib	Molecular and clinical oncology 21(3)63-2024/07	Original Article
164	Stone JH, Khosroshahi A, Zhang W, et, al.	内科学第三講座	Inebilizumab for Treatment of IgG4-Related Disease	The New England journal of medicine 392(12)1168-1177 2025/03	Original Article
165	Sano T, Kikuta K, Takikawa T, et, al.	内科学第三講座	Serum IgG4-negative and IgG4-positive type 1 autoimmune pancreatitis present with different clinicopathological features: An analysis of a nationwide survey in Japan	Pancreatology 25(1)82-88 2025/02	Original Article
166	Yamamoto T, Horibe M, Sanui M, et, al.	内科学第三講座	Early detection of necrosis in low-enhanced pancreatic parenchyma using contrast-enhanced computed tomography was a better predictor of clinical outcomes than pancreatic inflammation: A multicentric cohort study of severe acute pancreatitis	Pancreatology 24(6)827-833 2024/09	Original Article
167	Maruo M, Ikeura T, Takaori A, et, al.	内科学第三講座	Impact of endoscopic ultrasound-guided tissue acquisition on prognosis and peritoneal lavage cytology in resectable or borderline resectable pancreatic ductal adenocarcinoma	Pancreatology 24(5)787-795 2024/08	Original Article
168	Takikawa T, Kikuta K, Sano T, et, al.	内科学第三講座	Maintenance steroid therapy is associated with decreased risk of malignancy and better prognosis of patients with autoimmune pancreatitis: A multicenter cohort study in Japan	Pancreatology 24(3)335-342 2024/05	Original Article
169	Sano Y, Tomiyama T, Yagi N, et, al.	内科学第三講座	Platelet activation through CD62P and the formation of platelet-monocyte complexes are associated with the exacerbation of mucosal inflammation in patients with ulcerative colitis	Scientific reports 14(1)28055-2024/11	Original Article
170	Shijimaya T, Tahara T, Yamazaki J, et, al.	内科学第三講座	Microbiome of esophageal endoscopic wash samples is associated with resident flora in the esophagus and incidence of cancer	Scientific reports 14(1)19525-2024/08	Original Article
171	Hashimoto D, Satoi S, Yamaki S, et, al.	胆膵外科	Neoadjuvant Treatment with Changes in Chemotherapy Regimens According to Carbohydrate Antigen 19-9 Level for Resectable/Borderline Resectable Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Annals of surgical oncology 32(1)517-528 2025/01	Original Article

172	Nakatake R, Kitade H, Ishizaki M, et, al.	胆膵外科	Giant hemorrhagic pancreatic pseudocyst with suspected cystic pancreatic tumor: a case report	Journal of surgical case reports 2024(6)rjae393-2024/06	Case report
173	Okuyama T, Nakatake R, Ito K, et, al.	胆膵外科	Hepatoprotective effects of baicalein against liver ischemia-reperfusion injury and partial hepatectomy in a rat model	Molecular biology reports 51(1)643-2024/05	Original Article
174	Nakatake R, Funatsuki T, Koshikawa Y, et, al.	胆膵外科	C reactive protein albumin ratio as a new predictor of postoperative delirium after cholecystectomy for acute cholecystitis	Scientific reports 14(1)21704-2024/09	Original Article
175	Funo T, Hashimoto D, Yamaki S, et, al.	胆膵外科	Conversion surgery for BRCA-mutated pancreatic ductal adenocarcinoma with liver metastasis treated with platinum-based chemotherapy followed by olaparib	Surgical case reports 10(1)179-2024/07	Original Article
176	Hashimoto D Sato S* Yamaki S, et, al.	胆膵外科	ASO Visual Abstract: Neoadjuvant Treatment with Changes in Chemotherapy Regimens According to Carbohydrate Antigen 19-9 Level for Resectable and Borderline Resectable Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Ann Surg Oncol 32(2):1341-2025/01	Original Article
177	Tajima A, Yamazaki F, Kishimoto I, et, al.	皮膚科	Basophil-Derived IL-4 Production and Its Potential Pro-Tumoural Role in Th2-Polarisation Within Sentinel Lymph Nodes of Primary Cutaneous Melanoma	Experimental dermatology 34(1)e70028-2025/01	Original Article
178	Itsukage S, Kume N, Tajima A, et, al.	皮膚科	A case of gastritis caused by immune checkpoint inhibitor treated with infliximab	International cancer conference journal 13(4)454-459-2024/09	Original Article
179	Nakatani K, Noborio R, Nomura Y, et, al.	皮膚科	A case of anti-laminin $\gamma 1$ (p200) pemphigoid developed after dipeptidyl peptidase-4 inhibitor administration	The Journal of dermatology 51(6)869-872-2024/06	Case report
180	Noda Y, Tokuyama Y, Sumita W, et, al.	病理学	Hepatocyte Nuclear Factor 4 α as a Sensitive Marker for Uterine Endocervical Adenocarcinomas and their Precursors	Human pathology 155()105714-2025/01	Original Article
181	Shintaku M, Hashiba T, Nonaka M, et, al.	病理学	H3 K27-altered diffuse midline glioma of the thalamus with formation of glio-fibrillary globular structures	International journal of clinical and experimental pathology 17(7)227-233-2024/07	Case report
182	Shintaku M, Hashiba T, Nonaka M, et, al.	病理学	Giant cell glioblastoma with lipogenic differentiation in a patient with neurofibromatosis type 1: A case report	Neuropathology 44(4)285-291-2024/08	Case report

183	Zha L, Matsu-Ura T, Sluka JP, et, al.	病理学	Morphological basis of the lung adenocarcinoma subtypes	iScience 27(5)109742-2024/04	Original Article
184	Yui M, Nakamura S, Koike Y, et, al.	放射線科	Efficacy of Molecular-targeted Agents in Vertebral Metastasis Management in Non-small Cell Lung Cancer	Anticancer research 45(3)1105-1115 2025/03	Original Article
185	Tsurusaki M, Sofue K, Murakami T, et, al.	放射線科	Radiological Assessment and Therapeutic Evaluation in Hepatocellular Carcinoma: Differentiation and Treatment Response with Japanese Guidelines	Cancers 17(1)101-2024/12	Review
186	Ohsaka T, Kojita Y, Uruse A, et, al.	放射線科	Solitary Fibrous Tumor With an Acute Subdural Hematoma: A Case Report and Review of the Literature	Cureus 16(4)e58271-2024/04	Case report
187	Tsurusaki M, Kozuki R, Uruse A.	放射線科	18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography in intrahepatic cholangiocarcinoma: could it be a new paradigm?	Hepatobiliary Surg Nutr. 13(2)379-381 2024	Review
188	Nobukata Kazawa, Yuta Shibamoto Tetsuro, Sugiura, et, al.	放射線科	The clinical utility of high resolution 3D-CT in the pleural/pulmonary diseases	International Journal of Radiology and Diagnostic Imaging 7(4)8-18 2024	Original Article
189	Shuji Kariya, Miyuki Nakatani, Yasuyuki Ono, et, al.	放射線科	Nodal Lymphangiography and Embolization for Postoperative Lymphatic Leakage.	Interventional radiology (Higashimatsuyama-shi (Japan)) 10()e20240012-2025/03	Review
190	Koike Y, Ohira S, Kihara S, et, al.	放射線科	Synthetic Low-Energy Monochromatic Image Generation in Single-Energy Computed Tomography System Using a Transformer-Based Deep Learning Model	Journal of imaging informatics in medicine 37(5)2688-2697 2024/10	Original Article
191	Yoshida K, Akita K, Yoshida A, et, al.	放射線科	Single-Fraction Palliative High-Dose-Rate Brachytherapy for Symptom Management in a 97-Year-Old Patient With Dementia	Journal of palliative medicine 27(8)1102-1106 2024/08	Case report
192	Yoshida K, Tanaka Y, Nakamura S, et, al.	放射線科	Combined external radiotherapy and single-fraction palliative high-dose-rate interstitial brachytherapy for a patient with a base of tongue cancer who had a previous radiation history	Oral Radiology 41(1)144-150 2025/01	Original Article
193	Anetai Y, Doi K, Takegawa H, et, al.	放射線科	Diffusion equation quantification: selective enhancement algorithm for bone metastasis lesions in CT images	Physics in medicine and biology 69(24)245007-2024/12	Original Article

194	Ueno Y, Kariya S, Ono Y, et, al.	放射線科	In Vivo Sonoporation Effect Under the Presence of a Large Amount of Micro-Nano Bubbles in Swine Liver	Ultrasound quarterly 40(2)144-148 2024/06	Original Article
195	Umegaki T, Kunisawa S, Kamibayashi T, et, al.	麻酔科	Comparison of In-Hospital Outcomes between Open Aneurysm Repair and Endovascular Aneurysm Repair for Ruptured Abdominal Aortic Aneurysm: A Retrospective Cohort Study Using Japanese Administrative Data	Annals of Vascular Diseases 17(4)351-357 2024/12	Original Article
196	Umegaki T, Nishimoto K, Kamibayashi T.	麻酔科	Associations of the staffing structure of intensive care units and high care units on in-hospital mortality among patients with sepsis: a cross-sectional study of Japanese nationwide claims data	BMJ open 14(7)e085763- 2024/07	Original Article
197	Aihara S, Nakayama Y, Nakajima Y, et, al.	麻酔科	Patch dehiscence after mitral valve repair by posterior mitral leaflet augmentation at weaning from cardiopulmonary bypass.	Cureus 16(6)e62872- 2024/06	Case report
198	Uno R, Hagihira S, Aihara S, et, al.	麻酔科	Correction:Decrease of the peak heights of EEG bicoherence indicated insufficiency of analgesia during surgery under general anesthesia	Journal of Anesthesia 38(865)- 2024/10	Original Article
199	Uno R, Hagihira S, Aihara S, et, al.	麻酔科	Decrease of the peak heights of EEG bicoherence indicated insufficiency of analgesia during surgery under general anesthesia	Journal of anesthesia 38(6)855-864 2024/12	Original Article
200	Aihara S, Hagihira S, Uno R, et, al.	麻酔科	Effect of remifentanil on three effect-site concentrations of propofol and their relationship during electroencephalography at loss of response, at maximum alpha power, and at onset of burst suppression: a prospective randomized trial	Journal of anesthesia 38(3)371-376 2024/06	Original Article
201	Aihara S, Umegaki T, Soeda T, et, al.	麻酔科	Cerebral vasospasm occurring immediately after endoscopic transsphenoidal resection of a pituitary adenoma: A case report.	Surgical neurology international 15()201- 2024/06	Case report

計201件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院にお ける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 申請書手続き及び判定の通知、研究の実施及び報告、有害事象の報告、健康被害に関する補償、実施制限及び再審査、公開	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 産学連携活動に伴い発生する利益相反を適切にマネジメントすることに関し必要な事項を定めることにより、本法人及び教職員等の社会的信頼を確保するとともに、もって教育、研究及び社会への貢献を継続的かつ適切に遂行することを目的としている。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年1回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	倫理講習会 年2回 (集合形式) ワークショップ 年2回
-----------------------	------------------------------------

	(集合形式)
<p>・研修の主な内容</p>	
<p>2024年度 臨床研究等倫理講習会</p>	
<p>2024/7/31 (水)</p>	<p>第19回臨床研究等倫理講習会</p>
<p>【演題】人を対象とする生命科学・医学系研究を計画するにあたっての留意点</p>	
<p>【演者】関西医科大学 衛生・公衆衛生学講座 甲田勝康先生</p>	
<p>2025/1/7 (火)</p>	<p>第20回臨床研究等倫理講習会</p>
<p>【演題】倫理審査申請のための研究計画書の書き方 ～研究者の立場から～</p>	
<p>【演者】関西医科大学 内科学第三講座 長沼誠先生</p>	
<p>2024年度 臨床研究ワークショップ</p>	
<p>2024/5/27 (月)</p>	<p>第30回臨床研究ワークショップ</p>
<p>【演題】看護研究10</p>	
<p>臨床場面の「なぜ」にエビデンスを－看護研究の「問い」の立て方</p>	
<p>【演者】関西医科大学 看護学部・大学院看護学研究科 大川聡子先生</p>	
<p>2024/11/21 (木)</p>	<p>第32回臨床研究ワークショップ</p>
<p>【演題】看護研究11</p>	
<p>リサーチクエスチョンに基づく文献検索</p>	
<p>－実践に役立つエビデンスを見つけよう</p>	
<p>【演者】関西医科大学 看護学部・大学院看護学研究科 大川聡子先生</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

多くの診療各科ではその所属する学会が定める専門医を目指して研修が行われますが、本院では研修の年ごとの具体的目標と研修計画が設定されています。また、研修を円滑に進捗させるため研修進捗状況の把握、評価し問題があれば改善を勧告する後期研修システムを備えています。

また、手術支援ロボット ダ・ヴィンチSiの導入など、高度かつ先進的な医療に関する研修を行っています。

平成25年4月には、本院に直結する新学舎がオープンし、最新の研究室、基本的な医療技術及び医療実践能力の向上を目的としたシミュレーションセンターや電子ジャーナルを取り入れた図書館などを備え研修を最高レベルで一貫して行える体制を整えています。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	153人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
伊藤 量基	血液呼吸器膠原病感染症内科	診療部長・主任教授	33年	アレルギー疾患内科 または アレルギー科、リウマチ科を含む
長沼 誠	消化器肝臓内科	診療部長・主任教授	33年	
倉田 宝保	呼吸器腫瘍内科	診療部長・主任教授	35年	
蓮尾 英明	心療内科	診療部長・主任教授	22年	
薬師寺 祐介	脳神経内科	診療部長・主任教授	29年	
嶽北 佳輝	精神神経科	診療科長・診療教授	22年	
金子 一成	小児科	診療部長・主任教授	41年	
山崎 誠	上部消化管外科	診療部長・主任教授	29年	
渡邊 純	下部消化管外科	診療部長・主任教授	24年	
海堀 昌樹	肝臓外科	診療部長・主任教授	34年	
里井 壯平	胆膵外科	診療部長・主任教授	34年	
高田 正泰	乳腺外科	診療部長・主任教授	24年	
土井 崇	小児外科	診療部長・主任教授	23年	
小山 忠明	心臓血管外科	診療部長・主任教授	34年	
村川 知弘	呼吸器外科	診療部長・主任教授	33年	
埜中 正博	脳神経外科	診療部長・主任教授	33年	
齋藤 貴徳	整形外科	診療部長・主任教授	42年	
長谷 公隆	リハビリテーション科	診療部長・主任教授	40年	
寛道 奈津子	形成外科	診療部長・主任教授	23年	
谷崎 英昭	皮膚科	診療部長・主任教授	23年	
木下 秀文	腎泌尿器外科	診療部長・主任教授	37年	
今井 尚徳	眼科	診療部長・主任教授	24年	

八木 正夫	耳鼻咽喉科	診療部長・主任教授	30年	内分泌外科を含む
谷川 昇	放射線科	診療部長・主任教授	40年	
岡田 英孝	産婦人科	診療部長・主任教授	32年	
上林 卓彦	麻酔科	診療部長・主任教授	38年	
鋤方 安行	救急医学科	診療部長・主任教授	42年	
蔦 幸治	病理診断科	診療部長・主任教授	29年	
神田 晃	臨床検査医学科	診療部長・主任教授	31年	
兒島 由佳	歯科・口腔外科	診療部長・主任教授	30年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数 報告なし
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ① 検査情報システムと情報漏洩防止 ② LAINS（検体検査システム）時間外業務説明会 ③ 化学物質の取扱い ・研修の期間・実施回数 ① 令和7年3月28日、4月1日～4月15日 ② 令和7年4月28日・30日 ③ 令和7年8月14日、8月20日～9月10日 ・研修の参加人数 ① 70名 ② 61名 ③ 76名
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数 報告なし

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 松田 公志
管理担当者氏名	事務部長 藤原宏司、看護部長 島村里香、薬剤部長 谷川昇

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	管理課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	手術部
		看護記録	各病棟
		検査所見記録	臨床検査部
		エックス線写真	放射線部
		紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病歴情報課 病歴情報課
			当院は2006年開院時から電子カルテを導入しており、保管期間は診療が完結した日から20年としている。紹介状や同意書等の紙媒体で生成されるものについては、電子カルテにスキャンし、紙媒体も原本として保管している。また、画像フィルムについてはすべてのモダリティのフィルムレス化を実施しており、現物保管は行っていない。診療録を病院外へ持ち出すことは、個人情報保護の観点から認めていない。患者データの抽出は、所定の抽出依頼書に所属部門長の承認を受けた上で医療情報部へ申請を行う。医療情報部長は利用目的を審査の上、患者データの抽出を行う。依頼者は患者データの利用が完了次第、速やかに依頼者の責任のもと患者データを削除する。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	管理課
		高度の医療の提供の実績	各診療科
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科
		高度の医療の研修の実績	各診療科
		閲覧実績	病歴情報課
		紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携部
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	・保管部署で管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医用工学部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医用工学部	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医用工学部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医用工学部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	用度課
		監査委員会の設置状況	法人 総合企画課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	内部監査室
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	管理課
管理者が有する権限に関する状況	管理課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	内部監査室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	法人 総合企画課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 松田 公志
閲覧担当者氏名	管理課長 船原 宏通 医事課長 馬場 昌仁 病歴情報課長 石原 久美子
閲覧の求めに応じる場所	・1階 情報ライブラリー室
閲覧の手続の概要 ・閲覧申請書を記入の上、申請窓口である管理課へ提出する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全管理に関する基本的考え方 2 医療安全管理対策委員会その他の組織に関する基本的事項 3 職員に対する医療安全管理のための研修に関する基本方針 4 医療事故報告等の医療安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5 医療事故発生時の対応に関する基本方針 6 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 (患者等に対する当指針の閲覧に関する基本方針を含む) 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 8 その他医療安全の推進のための必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無 (有)・無 ・ 開催状況：年 29 回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全管理対策委員会 (12回) 2 セーフティーマネージャー委員会 (11回) 3 医療の経過検討委員会 (5回) 4 医療法に基づく院内医療事故調査委員会 (1回) 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 10 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて)： <ol style="list-style-type: none"> 1 「医療者の破壊的行動 (DCB) 抑止講習 概念と実態の理解」 2 「医療者の破壊的行動 (DCB) 抑止講習 ワークショップ」 3 「当院における医療安全管理の体制とルール」 4 「災害医療研修会」 5 「医薬品安全講習～2024年に発生した医薬品関連の重大インシデント」 6 「知っておくべき当院の医療安全・感染対策」 7 「医療安全大会～栄養管理と医療安全～」 8 「グループワーク チームSTEPPS (初級編) チーム力を高めよう」 9 「医療訴訟における裁判の在り方 ～医療記録を踏まえた法的判断及び事実認定～」 10 「前向き医療安全のススメ」「持参薬の確認不足」 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 死亡・死産報告の義務化と合併症報告の対象の一部基準化 2 医療安全管理マニュアル年1回見直し及び改定 3 医療安全管理部作成のオリジナル動画配信による職員講習の実施 受講内容の理解度を測る確認テストを兼ねたアンケートの実施 4 技術研修 (模擬体と超音波装置を使用したシミュレーション訓練) 5 新入職者、中途入職者への医療安全に関する入職オリエンテーション実施 6 医療事故発生時、発生部門及び関連部門への聞き取り 7 医療事故防止策は、セーフティーマネージャーが中心となり、時系列行動表作成、背景要因を検討し、今後の改善に向けた方策を立案 8 事例から検討された医療安全確保のための方策について、ポスター・通知書等で職員に周知、また、方策の実施状況を確認 	

- 9 放射線科の検査報告書の未読リストを該当診療科に送付し、報告書見落とし予防対策を実施
- 10 年1回、全部門及びセーフティマネージャーに「医療安全情報」を配付
- 11 毎月、全部門及びセーフティマネージャーに、医療安全管理部作成の「医療安全マンスリーレポート」及び「チームSTEPPSポスター」を配付
- 12 テーマに沿った医療安全院内ラウンドを年5回実施
- 13 日本私立医科大学協会主催の他大学病院との相互ラウンドの実施

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連感染対策に関する基本的な考え 2 感染対策委員会の設置 3 感染対策マニュアル 4 感染症の報告 5 医療関連感染発生時の対応 6 職員研修の基本方針 7 患者への指針の公開 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ MRSAおよび多剤耐性菌の検出状況把握と対策 ○ 抗菌薬の使用状況調査と感受性の推移調査 ○ 抗菌薬使用報告書、TDM等の抗菌薬適正使用状況調査 ○ 院内感染発生時の対応、対策 ○ 感染対策研修会の企画および開催 ○ 院内ラウンド サーベイランスの実施 ○ 血液培養陽性症例ラウンドの実施 ○ 針刺事故の発生状況と事故防止対策の検討 ○ 感染対策地域連携合同カンファレンスでの報告 ○ 滅菌材料部滅菌状況報告 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染経路別予防策と咳エチケット ○ 知っておくべき当院の感染対策(医療安全・感染対策合同講習会) ○ 外部コンテンツ(e-ラーニング) <ul style="list-style-type: none"> ・ こんなときどうする？確定前から始める感染対策シミュレーション②「麻疹編」 ・ 抗菌薬の適正使用とは ～AMRに立ち向かうために①～ 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ((有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ・ 病棟ラウンド(ICTラウンド)時の監査内容のフィードバック ・ 感染対策研修会の開催、e-ラーニング ・ 感染対策地域連携合同カンファレンスの開催(4回/年) 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 11 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ○オンデマンドによる講習（確認テスト実施） ○医薬品安全講習（院内コンテンツ）：随時,全職員対象 「医薬品安全講習 ～2024年に発生した医薬品関連の重大インシデントについて～」 ○e-ラーニング（外部コンテンツ）：随時,全職員対象 コンテンツ「持参薬の確認不足」を課題選定して、優先的に受講するようにした。 ○その他（対象者限定） ・ 医薬品に関連したインシデント検討会 （令和6年5, 7, 12, 令和7年1, 2, 3月, セーフティマネージャー対象） ・ 新入職対象 医薬品安全研修（4月, 新入職看護師・薬剤師対象） ・ 研修医対象 医薬品安全研修（4月, 新入職研修医対象） 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 （○有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ○医薬品の採用・購入 ○調剤室・病棟における医薬品の管理 ○病棟・各部門への医薬品の供給 ○外来・入院患者への医薬品使用 ○医薬品情報の収集・管理・提供 ○手術・麻酔部門における医薬品安全使用 ○救急部門・集中治療部門における医薬品安全使用 ○輸血・血液管理部門・血液浄化部門における医薬品安全使用 ○画像診断部門・内視鏡部門・外来化学療法部門・歯科領域における医薬品安全使用 ○他施設との連携に関する事項 ○事故発生時の対応 ○教育・研修 ○医薬品関連の情報システムの利用 ○その他 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （○有・無） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： ○小児の腸管不全関連肝障害に対する魚油由来ω3系脂肪乳剤「オメガベン」 ○突然発症する治療抵抗性てんかん重積（NORSE）に対する「アクテムラ点滴静注用」など ・ その他の改善のための方策の主な内容： ○輸液フィルターが必要な注射薬へのリマインダー添付を開始（2024. 4） ○術前中止薬テンプレートの実験運用開始（2024. 7） ○毒薬（筋弛緩薬）の交付・受領に関する厳重な管理体制の整備（2024. 9） ○ピグアナイド系糖尿病治療薬を術前中止対象薬に追加（2024. 9） ○HBV再活性化防止対策の改善（2024. 12） 前方視的チェックの対象薬剤の見直しおよび後方視的チェックプログラムの全面改修 ○アレルギー予防目的のステロイド投与に関するマニュアル化（2025. 1） 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 107 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>○特定医療機器（人工心肺、人工呼吸器、除細動器、閉鎖式保育器、血液浄化装置、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線装置）に関する取扱い説明、インシデント事案を含めた研修</p> <p>○新規購入に伴う取り扱い研修実施</p> <p>○新人研修医、看護師へのシラジ、輸液ポンプ、人工呼吸器、生体情報モニタ等の実機使用説明実施</p> <p>○特定医療機器の定期研修に関してはe-ラーニングにて実施</p> <p>→放射線関係については放射線部で対応実施</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (○有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>○放射線関連装置は放射線治療部において、その他の特定医療機器については医用工学部にて保守点検計画書を作成し、それに基づき定期点検を実施、点検記録簿を作成している。</p> <p>特定医療機器以外では生体情報モニタ、電気メス、シリンジ、輸液ポンプ、ペースメーカー、麻酔器、逐次型空気圧式マッサージ器、低圧持続吸引器も保守点検計画にて実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>R6年度審議件数：1件</p> <p>1) 歯科用ラバーダムシート（3種）</p> <p>既に承認されている眼球保護を目的とした手術用滅菌済み手袋を、より扱いやすい歯科用ラバーダムシートに変更する。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>○日本医療評価機構、PMDA、メーカーから発出される自主回収・安全情報を院内ALL USERメールにて情報発信している。その中で当院に設置（使用）しているものは医用工学部及び、医療機器安全管理責任者、関連部署へ報告実施している。</p> <p>また、医用工学部H.P上で医療機器安全情報の発信もしている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	① 有・無
<p>・責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>関西医科大学附属病院組織分掌規則 第58条第2項に「医療安全管理責任者は、医療安全管理部、医療安全管理対策委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括する」と明記されている。</p> <p>医療安全管理責任者は、医療安全管理委員会の委員長として、また、医療安全監査委員会の病院側出席者として、医療安全管理部、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者からの業務報告内容を把握している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	② 有 (7名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>○月毎に薬品別使用量や金額使用量を集計した「院内医薬品使用状況一覧」を作成しており、当院における医薬品の使用状況を把握している。</p> <p>○医薬品医療機器情報配信サービス (PMDA メディナビ) を利用するなど、国内外の医薬品情報をwebより収集している。</p> <p>○医薬品安全使用に関する情報は、必要に応じて①メール配信および②セーフティマネージャー委員会にて報告している。(インシデント検討会資料, マンスリーレポートを含む) また、その議事録を職員全員に回覧後、議事録閲覧確認票 (押印票) の回収により周知状況を把握している。</p> <p>○医薬品安全使用に関する情報は、薬剤部 薬品情報科でファイリングして整理しており、過去のメール配信記録は職員がいつでも閲覧できるようホームページ上に整理している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>○調剤前に処方監査を行い、処方薬剤が適応外又は併用禁忌等の使用方法に該当するか否かを判断している。</p> <p>○上記に該当する場合は薬学的知見に基づき、ガイドラインや各種文献を参考に使用の必要性やリスクの検討を加え、処方の妥当性等を確認している。また、必要に応じて、使用申請手順の指導を行っている。</p> <p>○適応外または併用禁忌等について疑義照会した場合の照会内容は、処方箋のコピーを記録とし</p>	

て保管し、医薬品安全管理責任者に毎月報告している。

○必要に応じて、医師に適応外または併用禁忌等について指導を行うとともに、院内全体に未承認等の医薬品の使用に関して必要な情報共有を行っている。

・ 担当者の指名の有無 (有)・無)

・ 担当者の所属・職種：

(所属：薬剤部，職種 医師 1 名) (所属：薬剤部，職種 薬剤師 3 名)

(所属：医療安全管理部，職種 薬剤師 1 名) (所属： ， 職種)

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

(有)・無

・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有)・無)

・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：

- 1 インフォームドコンセントマニュアルに説明と同意に関する方針、手順を定めている。
- 2 説明・同意書の新規作成又は改定する文書は、全て医療安全管理部門で確認している。
- 3 遵守状況の確認は、医療説明等管理責任者参加の診療録監査委員会にて実施している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

(有)・無

・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療録監査委員会で外来および入院診療録の多職種監査を実施し、1年かけて全診療科分を確認している。監査項目は基礎データ、医師記録、説明記録、退院サマリー、看護記録、薬剤記録、栄養記録となっており、不備があった場合の指導は各部門長へ行っている。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

(有)・無

・ 所属職員：専従（8）名、専任（ ）名、兼任（8）名

うち医師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（1）名

うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（１）名

うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（１）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- 1 医療安全管理対策委員会、医療の経過検討委員会、セーフティーマネージャー委員会等医療安全部が管轄する各委員会の運営と庶務に関すること
- 2 医療事故や医療安全管理部が介入した事象における、診療録の確認、患者及び家族への説明、発生原因の究明と対応状況の確認、事象から派生した事項について職員への指導
- 3 医療に係る安全管理の連絡調整、医療安全の確保のための対策の推進、医療安全の確保に資する診療状況の把握と職員への安全意識向上の取組みとモニタリング
（放射線・内視鏡検査報告書、パニック値報告など）

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（20件）、及び許可件数（20件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

・活動の主な内容：

>部門会議の開催（2024/5/17、2024/9/13、2025/1/10）

>申請技術の審査、承認

>許可された技術の定期的なモニタリング

>業務手順書の見直し

>院内ホームページの整備（職員周知用）

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）

無)

- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 ・ 無)

・活動の主な内容 :

○未承認 : 1 件

○適応外 : 101 件

○禁 忌 : 0 件

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)

- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況 : 年 860 件

- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況 : 年 43 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- 1 死亡・死産及び合併症の報告義務について、医師入職オリエンテーション時に説明している。
- 2 院内死亡・死産情報及び合併症報告を確認し、未報告の診療科等に報告するよう督促を行うなど活動をしている。
- 3 毎月の医療安全管理対策委員会において、死亡・死産報告、合併症報告の件数及び事例を報告し、必要に応じ改善策を審議している。審議結果は病院長へ報告している。
- 4 医療安全管理対策委員会の決定事項を共有するセーフティマネージャー委員会において、死亡・死産報告、合併症報告の件数及び報告義務の周知を実施している。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り (有 (病院名 : 福岡大学病院) ・ 無)

- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ (有 (病院名 : 福岡大学病院) ・ 無)

・技術的助言の実施状況

- 1 インシデントやアクシデントの報告等の状況 (助言なし)
- 2 医療安全管理委員会の業務の状況 (助言なし)
- 3 医薬品等の安全使用体制の状況

【助言】医薬品適応外使用に関する倫理委員会での審議及び薬事委員会での報告件数が病院規模に比して少なく感じました。運用の改善をご検討ください。

【対応】令和6年度特定機能病院等医療安全連絡会において、情報提供された国立大学グループ51病院の医薬品適応外使用状況をもとに、具体的な医薬品名と用途をセーフティマネージャー委員会において提示し、各診療科からの積極的な申請を依頼しました。また、薬

<p>剤師による監視体制の強化に努めています。</p> <p>4 高難度新規医療技術又は未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の適否等を決定する部門の運用状況（助言なし）</p> <p>5 監査委員会の業務の結果及び監査委員会からの指摘への対応状況（助言なし）</p>
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <p>・体制の確保状況</p> <p>1 「関西医科大学附属病院患者相談窓口運用規程」を定め、患者相談窓口の運用及び体制を確保している。</p> <p>2 病院 HP に患者相談窓口のご案内として、場所、対応時間、相談内容を掲載している。</p> <p>3 病院 2 階に「患者総合相談窓口」を設定し、病院 1 階に個室の相談室を設け、相談者が不利益を受けないよう配慮している。</p> <p>4 病院 2 階の「患者総合相談窓口」には、病院 HP 掲載内容のほか、責任者名、相談対応職種を記載した看板を設置している。</p> <p>5 相談内容によっては、インシデント報告対応事案となり、一部内容は医療安全管理対策委員会に報告し、委員会にて対応を検討する体制が確保されている。</p>

<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <p>・研修の実施状況</p> <p>1 「BLS講習会」</p> <p>2 「急変時対応訓練」</p> <p>3 「災害医療研修会」</p>
--

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

<p>⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況</p> <p>・研修の実施状況</p> <p>【管理者】</p> <p>○2024 年度特定機能病院管理者研修（2024 年 12 月 12 日）</p> <p>【医療安全管理責任者】</p> <p>○2024 年度特定機能病院管理者研修（2024 年 12 月 13 日）</p> <p>【医薬品安全管理責任者】</p> <p>○2024 年度特定機能病院管理者研修（2024 年 12 月 9 日）</p> <p>【医療機器安全管理責任者】</p>
--

○2024 年度特定機能病院管理者研修（2025 年 2 月 14 日）

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

○日本医療機能評価機構認定病院 令和 5 年 4 月 6 日認定

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

（日本医療機能評価機構ホームページにおける公開内容）

・ 評価を踏まえ講じた措置

・ 患者中心の医療の推進

患者が理解できるような説明を行い、同意を得ている

倫理・安全面などに配慮しながら、新たな診療・治療方法や技術を開発・導入している

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 心身ともに健全にして人格高潔である医師 2. 医療安全確保のために必要な資質、能力を有している者 3. 病院の管理運営のために必要な資質、能力を有している者 4. 関西医科大学附属病院における病院理念、基本方針、医療倫理指針を理解し、遂行することができる者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 公表の方法 ホームページ
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 病院の運営方針に関する事 (2) 病院の経営管理に関する事 (3) 中期計画及び事業計画に関する事 (4) 医療機能に関する事 (5) 組織に関する事 (6) 人事に関する事 (7) 施設整備に関する事 (8) 予算及び決算に関する事 (9) 高難度新規医療技術の実施に関する事 (10) 未承認の医薬品等の使用に関する事 (11) 職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制の整備に関する事 (12) その他、病院の運営全般に関する事</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況 毎月1回(毎月第4火曜日午後4時から)開催の附属病院部科長会に報告し了承を得たうえで、職員に周知しています。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無 (有 (無))</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無 (有 (無))</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
松田 公志	○	医師	病院長
谷川 昇		医師	副病院長
齋藤 貴徳		医師	副病院長
長沼 誠		医師	副病院長
藤原 宏司		事務	事務部長
島村 里香		看護師	看護部長
山口 伸也		部長	物流センター部長
森本 圭祐		事務	診療情報分析室部長
打谷 和記		薬剤師	薬剤部副部長
仲野 俊成		医師	医療情報部副部長

川江 寛信		事務	事務部次長
舩原 宏通		事務	管理課長
馬場 昌仁		事務	医事課長
大西 良和		事務	用度課長
杉本 修平		事務	経理課長
岡田 一充		事務	地域医療連携部課長
手塚 ちひろ		事務	診療情報分析室課長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有 無 ）
 - ・ 公表の方法

 - ・ 規程の主な内容
 - 病院管理者として必要な人事及び予算執行権限について規定している。
 - ・ 規程の名称：附属病院組織分掌規則
 - ・ 条文：第3条 病院長は、病院管理者として当該病院の管理運営を掌理し、これに必要な人事及び予算執行権限を有する。

 - ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - 副病院長：医療安全に関すること
 - 副病院長：救急体制、手術運営に関すること
 - 副病院長：患者サービスに関すること
 - 事務部長：経営分析に関すること
 - 看護部長：看護に関すること
 - 薬剤部副部長：薬剤に関すること
 - 医療情報部副部長：医療情報に関すること

 - ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - <看護部長>
 - ・ 社団法人日本私立医科大学協会主催の看護部長会議
 - <薬剤部副部長>
 - ・ 社団法人日本私立医科大学協会主催の薬剤部長会議
 - <事務部長>
 - ・ 社団法人日本私立医科大学協会主催の事務部長会議
 - <医事課長>
 - ・ 社団法人日本私立医科大学協会主催の医療事務研究会
 - <管理課長>
 - ・ 社団法人日本私立医科大学協会主催の病院庶務研究会
- なお、院内においては月1回経営会議を開催し、各科の診療成績や予算に対する収支状況について情報共有を行っている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 附属病院の医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理対策委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務状況について管理者から報告</p> <p>(2) (1)の報告内容に関して是正措置を講ずる必要があるかどうかの意見収集</p> <p>(3) (1)、(2)の結果公表</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (有 (無))</p> <p>・ 公表の方法：</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
藤本 良知	枚方市医師会 名誉会長	○	地域医療に関する 学識経験者	有 (無)	1
森田 眞照	市立ひらかた病院 顧問		病院機能に関する 学識経験者	有 (無)	1
永井 仁美	茨木保健所 所長		公衆衛生に関する 学識経験者	有 (無)	1
吉野 敬昌	枚方信用金庫 理事長		医療を受ける側の 代表者	有 (無)	2
谷川 昇	関西医科大学医学部 放射線科学講座教授		医療に関する 学識経験者	(有)・無	1
蔦 幸治	関西医科大学臨床病 理学講座教授		臨床病理に 関する学識経験者	(有)・無	1

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

通常は年4回のテーマを決めた内部監査を行っています。また、内部通報窓口となっているため、管理者の業務に関する通報があれば、対応できる体制になっています。

- ・ 専門部署の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (有 ・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)
- ・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 ・ 会議体の実施状況（ 年6回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ）（ 年6回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 <input checked="" type="radio"/>無 ） ・ 公表の方法 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年4件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 <p>○医療安全管理センター前に医療安全管理通報窓口受付箱を設置し、案内を常時掲示しています。</p>

